

モーニングショー・特別上映

※12/7(金)までロードショー

『北京の恋～四郎探母』

2004年／中国／98分／配給：ワコ、フォーカスピクチャーズ
◎監督：スン・エイ／脚本：シユエ・シャオルー（北京ヴァイオリン）
◎出演：前田知恵、チントン、ビー・イエン・チュン、チャン・ハン

◆「京劇」を学ぶ日本人女性と中国的京劇俳優の青年が、文化と国境を超えて惹かれ合う。しかし若い二人の前に日中戦争の過酷な歴史、両家の数奇で辛い縁がのしかかる…。京劇「四郎探母」の華麗な物語を背景に、「北京ヴァイオリン」の脚本家が描いた感動作。出演は、北京電影学院本科を外国人として初めて卒業した実力派で、NHK「中国語会話」に出演中の前田知恵。京劇俳優役には、台湾ドラマ等テレビを中心に活躍する若手チントン。日中正常化35周年の今年、時を超え、日本と中国の新しい未来を探る問題作!

※1/26(土)～連日am.10:40よりモーニングショー

『眠れる美女』公開記念

川端康成文学映画特集

『眠れる美女』※1/26(土)、28(月)～30(水)

1967年／96分／配給：松竹／監督：吉村公三郎／原作：川端康成
◎脚色：新藤兼人／撮影：佐藤昌道／音楽：池野成

◎出演：田村正慶、山岡久乃、香山美子、殿山泰司、松岡赳、八木昌子

◆全裸の眠れる美女のかたわらで一夜を過ごす館に集う
老人たちの生への渴望を冷徹に描く異色の秀作。女性映画の巨匠・吉村公三郎が撮ればこうなる! 青春の悔悟に身を焦がす主人公の老作家の家は、吉村の自宅を使用している。

『千羽鶴』※1/27(日)、1/31(木)、2/1(金)

1969年／97分／配給：大映／監督：増村保造／原作：川端康成
◎脚色：新藤兼人／撮影：小林節雄／音楽：林光

◎出演：平井二郎、若尾文子、岸英子、京マチ子、南美川洋子、船越英二

◆川端康成同名小説を、鬼才・増村保造が演出。お茶の師匠と、その父親と関係のあった二人の女を中心に関連される色模様と、切ない恋愛を描く。日本の風土の中で女性の美を描いた川端文学ノーベル文学賞受賞記念映画。

『女であること』※2/2(土)、2/4(月)、5(火)

1958年／100分／配給：東宝／監督：川島雄三／原作：川端康成

◎脚色：山中澄江、井手俊郎、川島雄三／撮影：飯村正／音楽：柴敏郎

◎出演：森繁之、原節子、久米美子、香川京子、三浦達也、石浜朗

◆芸文作品の映画化に定評のあった川島が、豪華キャストを迎えて川端文学に挑んだ異色作。死刑囚の娘を預かる弁護士とその妻ら三人の女たちの人間模様を描く。丸山(現・美輪)明宏がタイトル・バックで歌う。日活を退社した川島の東京映画移籍第一作。

『伊豆の踊子』※2/3(日)、2/6(水)、7(木)

1963年／87分／配給：日活／監督：脚色：西河克巳／原作：川端康成／脚色：三木三巳

◎出演：吉永小百合、高橋英樹、大坂志郎、浪花千栄子、宇野重吉、十朱幸代

◆煌めく女優たちが踊り子を演じてきた川端康成代表作を、吉永小百合が主演した爽やかな感動作。宇野重吉扮する大学教授が過去を回想する形で始まる叙情豊かな作品。吉永小百合が踊り子と現代娘の二役を好演。西河克巳監督は後に、山口百恵主演で再び映画化している。

木曜講座 シネ・ヌーヴォ10周年企画

会場＝シネ・ヌーヴォX 午後7時より開講
料金＝一般1500円、学生・シニア1200円、会員1000円

◆12月6日の特別講座のゲストは、アジアプレス所属のジャーナリスト玉本英子さん。クルディスタン、イラク、アフガニスタンなどの女性たちを取り材。99年にタリバン政権によって公開銃殺刑にされた女性を取り材した「ザルミーナ～公開処刑されたアフガニスタン女性を追って」(04年)を上映し、その背景やアフガン社会について語っていただく(この日のみチャイ付き)。◆原一男監督の今年最後のドキュメンタリー講座は、12/13開催。浅野潜さんと映画を楽しむ会も、今年最後の回は12/20開催。なお、1月は全面休講します。

○シネクラブ合評会(毎回、am.11:00～から開催)

【場所】喫茶ケルン2F
(「シネ・ヌーヴォ」近く。劇場でお尋ねください)

●12月16日(日) ●1月20日(日)

シネクラブ会員募集!!(年会費3000円)

1.シネ・ヌーヴォご招待券1枚プレゼント!(半年間有効)

2.当月入場料金の割引／会員は1000円でご覧いただけます(ただし、オールナイトなどは除きます)。※同伴者1名も有効

3.ポイントカードの発行／有料入場で1ポイント、10ポイントでご招待券プレゼント! 毎週火曜日はWポイント

4.会報の発行／2カ月間に1回お送りします。

5.映画本・ビデオ・CDの割引

6.他劇場でも映画割引／宝塚シネ・ピピラ、プラネット・プラス1…前売料金の100円引き。梅田ガーデンシネマ、マ、第七藝術劇場、京都みなみ会館、京都シネマ、シネカノン神戸…前売料金で入場できます。

7.会評会／原則毎月第3曜日はシネクラブ合評会を行っておりります。

※会員更新の方には、スタンプ2ポイントサービス! ※郵便振替でも入会できます。振替用紙に住所・氏名・電話番号と「入会金」と明記し、「009920-5-46944」シネ・ヌーヴォの口座に3000円をお振り込みください。

★シネクラブ会員募集!!(年会費3000円／お得な会員割引など、様々な特典付き) ★メール会員募集!!(メールでヌーヴォの上映案内を無料でお送りいたします) ★ボランティアスタッフ募集!!

※会員登録は、シネ・ヌーヴォのホームページで行なってください。

http://www.cinenouveau.com/

※会員登録は、シネ・ヌーヴォのホームページで行なってください。



Schedule

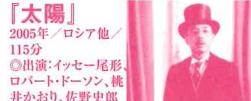
12 December

※11/24(土)よりロードショー 第14回大阪ヨーロッパ映画祭
協賛企画
『牡牛座—レーニンの肖像』

2001年 / ロシア / 日本 / 94分 / 配給:バンドラ ○監督・撮影:アレクサンドル・ソクーロフ
○脚本:ユーリー・アラボフ ○美術監督:ナターリヤ・コチルギーナ
○出演:レオニード・モズゴワイ、マリヤ・クズネツォワ、ナターリヤ・ニクレンコ
2001年カンヌ国際映画祭公式出品作品 / ロシア映画評論家協会最優秀監督賞他

◆鬼才ソクーロフ監督が、20世紀に権力の座に就いていた人々、そしてその権力の凋落を描いた三部作の最後の1本がいよいよ日本公開。しかも全国に先駆けて初登場!ヒトラー、ヒロヒトとともにソクーロフ監督が描いたのは、自国の権力者レーニン。◆末期の床にあるレーニンの妻クループスカヤはバンドの脇で、ひたすら刑罰史を夫に読んで聞かせている。見舞いに訪れたスターリンは、権力掌握まであと一歩。表情は晴れ晴れとしている。痴呆のような症状を見せているかつての権力者に対して番兵たちは冷淡だ…。◆レーニン晩年の1922年夏の一日を、ソクーロフのまなざしを通じ描いた問題作。「20世紀の歴史で、もっとも恐るべき現象といえば、ナチズム、ファシズム、ボルシェヴィズムが、国と世界の繁栄をめざす野心家から生まれてきたことです」アレクサンドル・ソクーロフ。

ソクーロフ20世紀3部作一挙上映!!



『モレク神』
1999年 / ロシア他 / 108分
◎出演:エーナ・ルフ アンドレオード・モスガヴィ



Schedule 2 February

※2/9(土)よりモーニング&レイトロードショー
『雪の女王』<新訳版>

1957年／ソ連(ロシア)／65分／カラー／配給:三鷹の森ジブリ美術館
◎監督:ルーフ・アマーノフ ◎原作:H.C.アンデルセン「雪の女王」
◎脚本:L.アマーノフ、G.グレーブネル、N.エールトマン
◎音楽:A.アイヴァジヤン ◎字幕:鬼島宏子



◆映画史に輝くロシアアニメーションの傑作が、50年の月日を経て<新訳版>となってリニューアル公開。1957年にロシアで製作された本作は、アンデルセンの原作をもとにアニメズムの神話的発想で作られ、今なお世界中に影響を与え続けている伝説的アニメーション。雪の女王に連れ去られた幼なじみの少年カイを探しに行く少女ゲルダの、困難と出会いの旅を描く。◆宮崎駿監督が運命の映画という本作。一途で純粋なゲルダ、冷酷さと美しさを兼ね揃えた雪の女王、優しい心を持ちなながらもそれを上手く表現できない不器用な山賊の娘…。『雪の女王』に登場する「自らの運命に立ち向かう」彼女たちの姿は、宮崎監督が『風の谷のナウシカ』以来、貫して描き続けているヒロイン像につながる。自らの運命に立ち向かい、若き宮崎駿を魅了したヒロインが、スクリーンに甦る!

併映作品:『鉛の兵隊』

1970年／ロシア／20分／カラー／配給:三鷹の森ジブリ美術館



◎監督:L.ミリチン ◎原作:H.C.アンデルセン
◎脚本:A.アーフンドフ

◆鉛の兵隊とバレリーナの
美しく切ない愛の物語。日本にはフィルムの存在が確
認されていない幻の作品。

★シネ・ヌーヴォXにて「写真家ドキュメンタリー特集」同時開催!!

※2/9(土)よりロードショー
『マグナム・フォト 世界を変える写真家たち』

1990年／ドイツ／89分／カラー／デジタル／配給:ウォンディア
◎監督:ライナー・ホルツァー ◎字幕監修:マグナム・フォト東京支社
◎出演:マーティン・パー、ドミニク・ワイヤー、テリー・ケウェル、イライ・リード、
ルネ・ブリ、イブ・アーノルド、アンリ・カルティエ=ブレッソン



◆世界中の決定的な瞬間に最前線で直面し、その瞬間を記録し続けてきた“世界最高の写真家集団”マグナム・フォト。1999年に製作された本作は、過去50年間に及ぶマグナムの輝かしい歴史を振り返り、新たな時代への支持を得て映画史に残る大ヒットを記録し、国民の目を涙で濡らした愛の傑作が本作である。首都バンコクで働くキャリアウーマンのディウは、祖母の妹の葬儀で訪れたチェンマイで、地元の青年トンと出会い、互いに好意を抱く。ディウは、ルームメートの親友の死をきっかけに、チェンマイへ移り住み、やがてトンと結婚する。トンの献身的な愛に包まれた温かい生活はしばらく続くが、トンは自分が不治の病に侵されているのを知る…。◆本作は、1998年に韓国で興行成績1位に輝いた恋愛映画『手紙』のリメイク。物語をタイに置き換え、特有の表現を多く盛り込み、タイ人の人生観・恋愛観を浮き彫りにしている。昨年11月の大坂アジアン映画祭ではプレミア上映され大好評。よく出来た構成、また映画の面白さなど、アジアの新しい風を爽やかに感じさせてくれていた。また、タイ第2の都市チェンマイの山に閉まれたロマンチックな風景も評判となった。

★第14回スパンナホン賞(タイ・アカデミー賞)主演女優賞／プラサダワーヤー賞主演女優賞／第13回タイ映画批評家協会賞主演女優賞／Season Award(雑誌社主催)主演女優賞／スター・エンターテインメントアワード撮影賞ほか受賞
★シネ・ヌーヴォXにて「写真家ドキュメンタリー特集」同時開催!!

※2/23(土)よりロードショー
『レター 僕をわすれないで』

2004年／タイ／110分／カラー／配給:IMX+太秦
◎監督:パーン・チャンタラシ ◎脚本:ソムサク・デチャラタナプラスト、コンデート・チャトランラッサミー ◎撮影:ナルボン・チヨカナービタック
◎出演:エーン・トーン・プラソム、アボーン・ティマゴーン



◆東南アジアの国々の中で映画製作が活発な国タイ。アクションからホラーまでさまざまな映画が作られている。そんなタイで圧倒的な支持を得て映画史に残る大ヒットを記録し、国民の目を涙で濡らした愛の傑作が本作である。首都バンコクで働くキャリアウーマンのディウは、祖母の妹の葬儀で訪れたチェンマイで、地元の青年トンと出会い、互いに好意を抱く。ディウは、ルームメートの親友の死をきっかけに、チェンマイへ移り住み、やがてトンと結婚する。トンの献身的な愛に包まれた温かい生活はしばらく続くが、トンは自分が不治の病に侵されているのを知る…。◆本作は、1998年に韓国で興行成績1位に輝いた恋愛映画『手紙』のリメイク。物語をタイに置き換え、特有の表現を多く盛り込み、タイ人の人生観・恋愛観を浮き彫りにしている。昨年11月の大坂アジアン映画祭ではプレミア上映され大好評。よく出来た構成、また映画の面白さなど、アジアの新しい風を爽やかに感じさせてくれていた。また、タイ第2の都市チェンマイの山に閉まれたロマンチックな風景も評判となった。

★シネ・ヌーヴォXにて「写真家ドキュメンタリー特集」同時開催!!

Schedule 3 March

※2/22(土)よりロードショー
『ファンタスティック! チェコアニメ映画祭』

共同開催
シネマート
心斎橋

2007年／日本／100分／カラー／デジタル／配給:ハイオクaid
◎監督:脚本:松井良彦 ◎撮影:田辺司 ◎照明:工藤和治
◎音楽:上田現 ◎特殊メイク:造形:松井佑一
◎出演:柏原収史、あんず、朱源実、村松恭子、三浦誠己、長澤奈央、佐野和宏



◆“アニメーションの故郷”チェコの巨匠たちによるファンタジックで愉快痛快な世界最高峰のアニメーションが夢のオンパレード! 今回は1991年以来のアニメーションにスポットを当てての上映。共産時代の社会統制下で国営アニメスタジオ(現クラートキー・フィルム・プラハ)は、夢を与える美しい芸術作品を数多く制作。国営時代はチェコアニメの黄金期で、表現への規制はあったもののクリエイターにとってはこだわりを存分に發揮し良質の作品を創ることができる聖地であった。◆4つのプログラムをシネマート心斎橋さんと半分ずつ分けて共同開催。シネ・ヌーヴォでは、「僕らと遊ぼう!」などで日本でも知られているブジェチスラフ・ポヤルから、人気漫画家で風刺の王様ウラジミール・イライネクの『聖火ランナー』『ビールが飲みたい』、世界的な画家アドルフ・ボルンが美術を手掛ける『妄想癖』、チェコならではの『ビールが飲みたい』など、シュールかつ短編ながらも人生や愛、社会の風刺がびりっと効いているC,Dプログラムを一挙上映!!

◆好評のドキュメンタリー映画『(ニアイコール)』シリーズ第5弾は、前衛芸術家・草間彌生が登場。未だに止むことなく世界の美術界を疾走する草間を、一年半もの間追いかけて渾身のドキュメンタリー映画。現代美術界の最先端に君臨し、見る者を新しい世界へ導いてくれる草間彌生。その独自性は時代の遙か先を行き、人々を驚愕させる。増殖する独自の水玉と網模様で唯一無二の世界を確立する草間は誰からの追随をも許さない。◆本作では100号のモノクロ作品シリーズ50作が完成する瞬間にカメラが密着する。真っ白なキャンバスから完成までの製作の過程を定点カメラで捉えた映像は、見る者を陶酔させる力を持っている。世界中の草間ファンが注目し待ち望んだ、草間芸術の生まれる瞬間に、私たちは立ち会い、そして目撃する。◆圧倒的な作品群、驚異の動員力を誇る個展。「生」と「死」と「愛」のせめぎ合いの中から湧き上がる草間芸術の真髄を、カメラは時に静かに、時に饒舌に記録しつづける。ニアイコールシリーズ他4作品をシネヌーヴォXで同時上映!!



◆80年代インディーズ・ムービーの金字塔『追悼のざわめき』(1986年)で世間を震撼させた松井良彦監督。実に22年ぶりに、松井良彦が沈黙を破った。松井監督はデビュー作の『錆びた缶空』(1979年)から一貫して疎外されている人間を描いてきた。この待望の新作で描かれるのは、性的トラウマを抱え、ホモ・セクシアルになった青年とニューハーフとの究極の“初恋”的の物語だ。生のままの激情を曝け出すこの無鉄砲さは、邦画バブルのぬるま湯でふやけつつある我々の魂を巨大な銃器で殴りつける。かつてのATG映画が担っていたような剥き出しのエネルギー、その泥くさいまでの真摯さが、観る者に決して消えないしこりを残す。しかし、この衝撃作を松井良彦自身は、「非常にかわいらしい青春ラブストーリー」と語る大胆さ! ◆主人公のアキラを演じるのは、『月の砂漠』『カミユなんて知らない』の柏原収史。超過激な松井映画の中で、ときに妖しく、ときに残酷に魅せる性と暴力。ヒロイン香里には、新宿で人気のニューハーフ、あんず。ミステリアスなキャラクターの苦悩と葛藤を身ひとつで体現。そして『錆びた缶空』以降、松井映画の常連俳優である佐野和宏が圧倒的な存在感で画面をぐっと引き締める。

	1/28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3	4	5
朝	『眠れる美女』公開記念 川端康成文学映画特集 一般1400円、学生・シニア1000円	◎新版『眠れる美女』と続けてご覧の方は、1200円 ※場内改裝工事のため休映いたします	『雪の女王』 バレンタインデー割引 2/14(木)は1000円均一!! 一般1700円、学生1400円 高・中・シニア・会員1000円 ★初日、2日目ご来場の方にプレゼントあり(限定)	10:00 11:40	タイで記録的なヒットの涙の感動作! 『レター 僕を忘れないで』	10:20 12:30 2:40	山本薩夫監督特集 <社会派エンターテインメント>	面白い! すごい!! いま発見する山本薩夫社会派エンタテインメント。 映画の面白さに満ちた16作品一挙上映!!	大森一樹監督(2008年リニューアル版) 『暗くなるまで待てない』 『明るくなるまでの恋を』 一般1300円、学生・シニア・会員1000円 (終1:10)	『ヴァンダの部屋』 一般1700円、学生1400円、シニア・会員1000円(前売1400円)	追悼田中徳三監督																													
昼 (メイン)	傑作文学シリーズ(第2弾) 原作:川端康成 監督・脚本:ヴァディム・グロウナ 『眠れる美女』 (R-18)	12:40 2:40 4:40 6:40 (レト)8:40 一般1700円、学生1400円 高・中・シニア・会員1000円 レイト割引1200円(前売1400円)	『MAGNUM PHOTOS マグナム・フォト 世界を変える写真家たち』 1:20 3:10 5:00 6:50 一般1700円、学生1400円、高・中・シニア・会員1000円(前売1400円) ★初日先着50名様に、卓上カレンダープレゼント!	10:00 11:40	『MAGNUM PHOTOS マグナム・フォト 世界を変える写真家たち』 1:20 3:10 5:00 6:50 一般1700円、学生1400円、高・中・シニア・会員1000円(前売1400円) ★初日先着50名様に、卓上カレンダープレゼント!	10:20 12:30 2:40	面白い! すごい!! いま発見する山本薩夫社会派エンタテインメント。 映画の面白さに満ちた16作品一挙上映!!	トニー・モリス監督 『トニー・モリスの世界』 一般1400円、学生1200円、高・中・小・シニア・会員1000円 当日3回券3900円、当日5回券6000円、会員5回券4500円 (前売1回券1200円、前売5回券5000円、フリーパス券9500円)	『どこに行くの?』 1:20(終3:00) 一般1700円、学生1400円、シニア・会員1000円(前売1400円)	『ファンタスティック! チェコアニメ映画祭』 ★(Aプロ) (Bプロ)はシネマート心斎橋で上映!! 一般・学生1500円、高・中・小・シニア・会員1000円 (前売1プロ1300円、4プロ4000円)																														
夜	シネ ヴ オ X	●1/26土～2/1金 12:00/2:00/4:00 2/2土～7木 12:00/2:00/4:00/6:00 『東京ソーダ水』 ●2/1金 6:00/7:50 ●2/2土～7木 pm:8:00 『タクミくんシリーズそして春風にささやいて』	休 映	●2/9土～15金 Photographers in Cinema 写真家ドキュメンタリー特集 ●2/9土～22金 pm:8:20 『国道20号線』	●2/16土～22金 ニ(ニアイコール)スペシャル! 森山大道/会田誠/舟越桂/天明屋尚「ニシリーズ」一挙上映!!	●2/23土～29金 ミーツ・ザ・ハンガリアン・アニメーション ハンガリーから素敵なアニメーションの贈り物!!	●3/1土～14金 10:40 『タクミくんシリーズそして春風にささやいて』 ●3/1土～14金 12:20/2:15/4:10/6:05 『タクミくんシリーズそして春風にささやいて』 ●3/1土～14金 pm:8:10 『タクミくんシリーズそして春風にささやいて』	●3/15土～ 《各回入替制》 『マザー・テレサ メモリアル』 11:00「母なることの由来」 12:40「母なるひとの言葉」 ●3/15土～28金 2:00/4:30/7:00 『観察』監督・脚本:横井健司 出演:緒川たまき	『どこに行くの?』 pm:8:50(終10:30) 一般1700円、学生1400円、シニア・会員1000円(前売1400円)	『タクミ・デルミア』 ※4月上映未定																														

●高・中・小・シニアはすべて1000円(セット券・オールナイト、一部作品は除く) ●毎月1日は映画サービスデー…1000円均一 ●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2000円(男女を問わず、お二人ならすべてOK! ただし、祝祭日は除く) ●毎週水曜日はレディースデー…女性は1000円均一 ●其他割引サービス ■連続鑑賞割引/映画を連続してご覧の方は2本目の作品が一般・学生のみ200円引き(一部適用されない作品もあります。詳しくはお問い合わせください) ■ハンディキャップ/障がい者手帳提示で1000円(同伴者1名も1000円) ■夫婦50割引/どちらかが50歳以上なら夫婦で2000円!

●上映スケジュールは、やむを得ない事情により変更される場合もあります
●ボーミュージカルでも情報発信中!
●アドレス <http://cinenouveau.com/>

上映中・モーニングショー・特別上映

※3/29(土)~4/4(金)特別モーニングショー

『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』
公開プレ上映!!

2000年／ボルトガル＝ドイツ・スイス／カラー／178分 ◎監督：ペドロ・コスタ

◆ペドロ・コスタ監督の伝説的傑作。リスピボンの移民たちが住む
廢墟のような街と人々を捉えた驚異のドキュメンタリー。続編とも
いえる『コロッサル・ユース』公開を前に特別上映決定!!



ペドロ・コスタ監督来館特別イベント

「六つのバガテル」2002年／デジタル／18分／出演：ジャン＝マリー・ストロベ、ダニエル・ユイ

「タラフル」2007年／デジタル／16分／出演：ヴェントゥーラ、ヴァンダ・ドゥアルテ

「うさぎ狩り」2007年／デジタル／23分／全州国際映画祭コラボレーション作品

3/30(日) PM.1:20~ 〈整理番号付きチケット〉¥1800均一



※4/4(金)までロードショー

『どこに行くの?』

2007年／日本／100分 ◎音楽：上田現 ◎出演：柏原収史、あんず、佐野和宏、朱源実、村松恭子

◆80年代インディーズ・ムービーの金字塔『追悼のざわめき』の
松井良彦監督の22年ぶりの新作。性的トラウマを抱え、ホモ・セクシャルになった青年とニューハーフとの究極の「初恋」の物語。



※4/4(金)までロードショー

ファンタステイック! チェコアニメ映画祭

◆“アニメーションの故郷”チェコの巨匠たちによるファンタジックで愉快痛快な世界最高峰のアニメーションが夢のオンパレード! 〈Cプロ〉ビタースイー 〈各回入替制〉 3:20 5:05 6:50
ト8作品78分 〈Dプロ〉ナセンス9作品77分

3/29~4/4 D C D

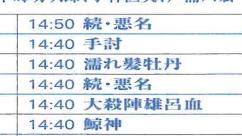
※4/5(土)よりロードショー

追悼 田中徳三監督 上映作品

◆『疵千両』1960年／90分／原作：長谷川伸／脚本：八尋不二／出演：長谷川一夫、香川京子、弓恵子 『濡れ髪牡丹』61年／90分／脚本：八尋不二／出演：市川雷蔵、京マチ子、小林勝彦 『鯉の銀平』61年／80分／原作：長谷川伸／脚本：犬塚塚／出演：市川雷蔵、中村玉緒、成田純一郎 『悪名』61年／94分／原作：今東光／撮影：宮川一夫／出演：勝新太郎、田宮二郎、中村玉緒 『続・悪名』61年／93分／原作他は『悪名』と同) 『鯨神』62年／100分／原作：宇能鴻一郎／脚本：新藤兼人／出演：本郷功次郎、勝新太郎、藤村志保 『手討』63年／85分／原作：岡本綺堂／脚本：八尋不二／出演：市川雷蔵、藤由紀子、城健三郎 『座頭市兜状旅』63年／86分／原作：子母沢寛／脚本：星川清司／出演：勝新太郎、高田美和、万里昌代 『宿無し大』64年／92分／脚本：藤本義一／出演：田宮二郎、天知茂、江波杏子 『続・兵隊やくざ』65年／92分／原作：有馬頼義／脚本：舟橋和郎／出演：勝新太郎、田村高廣、水谷良重 『大殺陣・雄呂血』66年／87分／原作：寿々喜多呂九平／脚本：星川清司、中村努／出演：市川雷蔵、八千草薫、藤村志保 『陸軍中野学校・竜三号指令』67年／88分／脚本：長谷川公之／出演：市川雷蔵、松尾嘉代、加東大介 『ひき裂かれた盛装』67年／88分／原作：黒岩重吾／脚本：池田一朗／出演：藤村志保、安田道代、成田三樹夫 『眼狂四郎女地獄』68年／82分／原作：柴田鍊三郎／脚本：高岩肇／出演：市川雷蔵、高田美和、水谷良重 『秘録 怪猫伝』69年／83分／脚本：浅井昭三郎／出演：本郷功次郎、小林直美、戸浦六宏



4/5(土)	10:40 痿千両 *16ミリ	12:30 悪名+トーキー	14:50 続・悪名
6(日)	11:00 濡れ髪牡丹	12:50 鯉の銀平	14:40 手討
7(月)	11:00 悪名	12:50 続・悪名	14:40 濡れ髪牡丹
8(火)	11:00 濡れ髪牡丹	12:50 悪名	14:40 続・悪名
9(水)	11:00 鯉の銀平	12:50 手討	14:40 大殺陣・雄呂血
10(木)	11:00 悪名	12:50 続・悪名	14:40 鯉の銀平
11(金)	11:00 手討	12:50 鯉の銀平	14:50 鯉の銀平
12(土)	10:40 大殺陣・雄呂血	12:30 眼狂四郎女地獄+トーキー	14:50 ひき裂かれた盛装
13(日)	11:00 鯉の銀平	13:00 陸軍中野学校・竜三号指令	14:45 宿無し大
14(月)	11:00 ひき裂かれた盛装	12:30 宿無し大	14:40 大殺陣・雄呂血
15(火)	11:00 痿千両 *16ミリ	13:00 眼狂四郎女地獄	14:40 ひき裂かれた盛装
16(水)	11:00 眼狂四郎女地獄	12:50 陸軍中野学校・竜三号指令	14:40 大殺陣・雄呂血
17(木)	11:00 陸軍中野学校・竜三号指令	12:50 続・兵隊やくざ	14:40 宿無し大
18(金)	11:00 続・兵隊やくざ	13:00 痿千両 *16ミリ	14:50 眼狂四郎女地獄
19(土)	10:50 座頭市兜状旅	※19日以降は、モーニング上映のみとなります。	
20(日)	10:50 秘録怪猫伝	22(火)・23(水)	10:50 座頭市兜状旅
21(月)	10:50 続・兵隊やくざ	24(木)・25(金)	10:50 秘録怪猫伝



シネクラブ会員募集!! (年会費3000円)

- シネ・ヌーヴォご招待券1枚プレゼント!(半年間有効)
- 当日入場料金の割引／会員は1000円でご覧いただけます(ただし、オールナイトなどは除きます)。*同伴者1名も有効
- ポイントカードの発行／有料入場で1ポイント、10ポイントでご招待券プレゼント! 毎週火曜日はWポイントカード
- 会報の発行／2カ月毎に1回お送りします。
- 映画本・ビデオ・CDの割引
- 他劇場でも映画割引／宝塚シネ・ピピラ、プラネット・プラス1…前売料金の100円引き。梅田ガーデンシネマ、第七藝術劇場、京都みなみ会館、京都シネマ、シネカノン神戸・前売料金で入場できます。
- 会員登録／原則毎月第3曜日はシネクラブ合評会を行っております。

*会員更新の方には、スタンプ2ポイントサービス!*郵便振替でも入会できます。振替用紙に住所、氏名、電話番号と「入会金」と記明し、00920-5-46944 シネ・ヌーヴォの口座に3000円をお振り込みください。

★メール会員募集!!(メールでヌーヴォの上映案内を無料でお送りいたします) ★ボランティアスタッフ募集!!

●今後のラインナップ●
●5/31(土)よりロードショー
『ヤーチャイカ』
2008年／日本／70分
◎監督・脚本：谷川俊太郎、覚和歌子
◎出演：香川照之、尾野千豊
もう死ぬしかないと思いつめて
ふらふらと村へ辿り着いた男と、
村の小さな天文台に勤務してい
る過去に傷を負った女。ふとした出会いがふたりを束の間結び
つける……。人類史上初めて女性が宇宙から地球に呼びかけた
「ヤーチャイカ」という言葉が、呪文のように男と女を解き放つ
——。言葉を「詩」で綴り、映像はすべてスチール写真で構成す
るという、異色作。監督は詩集「二十億光年の孤独」でデビュー
して以来、半世紀以上、創作の一線で活躍してきた現代詩の
巨匠・谷川俊太郎。原作は、覚和歌子の詩集「ゼロになるからだ」
の一編「ヤーチャイカ」。初日、香川照之さん舞台あいさつ!(予定)

●6月ロードショー
『コロッサル・ユース』

2006年／ボルトガル・フランス・スイス／155分 ◎監督：ペドロ・コスタ
◎出演：ヴェントゥーラ、ヴァンダ・ドゥアルテ、ペアトリス・ドゥアルテ

鮮烈な日本公開となった『ヴァンダの部屋』から6年、ボルトガルの
後裔ペドロ・コスタ監督の待望の
新作が登場する! 再びヴァンダ
を登場させて彷彿とされる人々を描
き出す。古くからカボ・ヴェルデなど
アフリカ系移民が多く住む、リ
スボン郊外のファンタニーヤス
地区。住民たちは開発に伴い、建てられたばかりの近代的な集合
住宅へと強制移住させられていた。そんな移民労働者の一人で、
34年この地区に住んできたヴェントゥーラは、突然、妻に家を出て
行かれてしまう。荒廃した貧民窟と新しい集合住宅を行き来しな
がらも、本当の自分の場所を見出していく魂の彷彿の物語。
2006年のカンヌ国際映画祭を始め、世界各地の映画祭で『ヴァン
ダの部屋』以上の驚きを与えた、ペドロ・コスタ監督の渾身作。

●7月モーニングロードショー
『凍える鏡』2007年／日本／100分
◎監督・脚本：大嶋拓 ◎出演：田中圭、富樫真、瀬辺美佐子
都会の片隅で自分の描いた絵を売れる青年、瞬と、雪深い信州の
山莊にひとり暮らす童話作家・香澄。親子以上に年の離れた2人は
はある日、街の雑踏で出会い、いつしか不思議な絆で結ばれていく……。親から「無条件の愛」を与えられることのなくなった現代
人の孤独とそこからの回復を、ひと組の母子と青年との闘いを通して
描き出した21世紀の寓話。「カナナ」「火星のわが家」と、
内外の映画祭で高い評価を受けてきた大嶋拓監督の最新作。

●7月レイトロードショー
『memo』

2008年／日本／106分 ◎監督・脚本：佐藤二朗
◎出演：韓英恵、佐藤二朗、室町季行、岡田普徳、池内博之、白石美帆、高岡早紀
閑静な住宅地に住む蘭子は、日常生活の中で、あるタイミングがく
ると、紙にメモをとらなくてはいけないという衝動が起こる「強迫性
障害」をもった女子高生だった。両親は蘭子の症状を認めて、静
かな3人暮らしをしている。そんなある日、長い間不適だった、父
の弟である純平がやってくる。驚く家族だが、そのうち純平も同じ
病であることがわかる。そこから、同じ病の2人の奇妙な交流が始ま
っていく……。ここからにわかれる時代、自身の「強迫性障害」
の体験をもとに描かれた「旬の俳優+脚本家」佐藤二朗初監督作品。

●シネクラブ合評会(毎回、am.11:00~から開催) ◎

●4月20日(日) ●5月18日(日)

【場所】喫茶ケルン2F(シネ・ヌーヴォ)近く。劇場でお尋ねください



●梅田・なんばから地下鉄10分。本町で地下鉄中央線に乗り換える「九
条」下車、6番出口から大阪ドーム方向へ徒歩3分(アーケード商店街
を進みバチカン・オメガを右折、次を左折、「やまと薬局」を右折す)
大阪市西区九条1-20-24 TEL06-6582-1416 FAX06-6582-1420

e-mail: info@cinenouveau.com http://www.cinenouveau.com/



Schedule

シネ・ヌーヴォ スケジュール 2008年4月・5月

60年前に、イスラエルが誕生し、パレスチナ難民が発生した。
この事件をパレスチナ人は、NAKBA(大惨事)と呼ぶ。
1948年に何が起きたのか、世界のほとんどが、何も知らない。

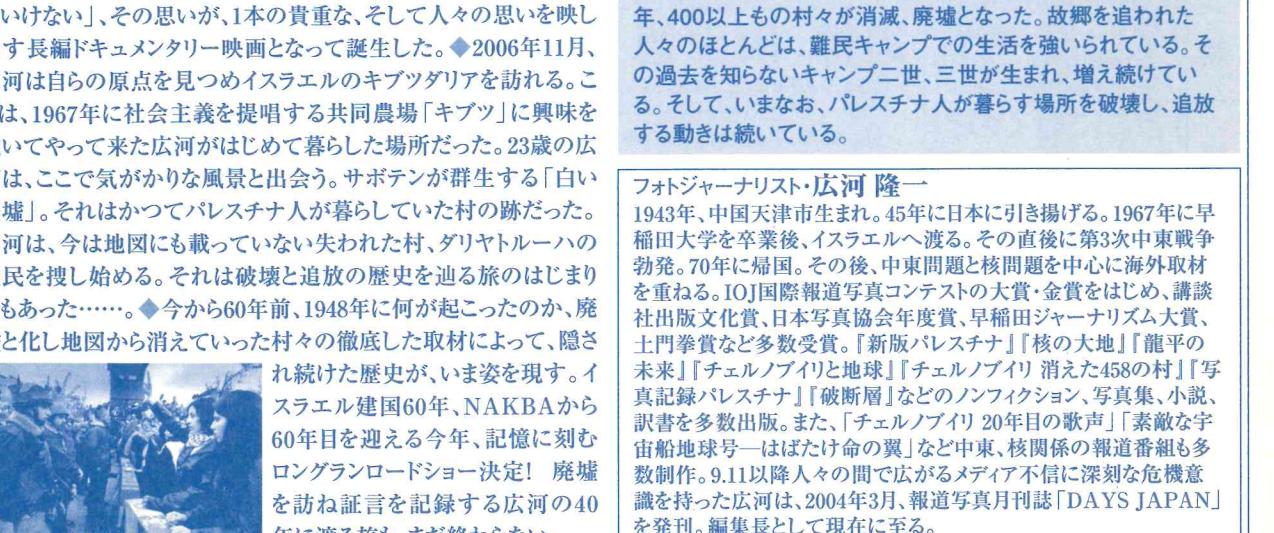
『パレスチナ1948 NAKBA(ナクバ)』

広河隆一 監督作品

フォトジャーナリスト・広河隆一が40年に渡って記録し続けた数万枚の写真、千時間を超える映像から生まれた渾身のドキュメンタリー

◆戦後60余りが過ぎ、戦争の体験も遠く過ぎ去り、戦争の惨劇・

悲劇が忘れ去られようとしている我がニッポン。一方で、この同じ
60年の長きにわたって、土地を奪われ難民となって悲しみ彷徨い
続けている民がいる。パレスチナの人々だ。イスラエルが建国宣言
をした1948年、70万人以上のパレスチナ人が住み慣れた村から追
放され、未だに彼・彼女らは故郷に帰れていない……。◆このパレ
スチナの受難の歴史は、常に隠されてきた。フォトジャーナリスト・広
河隆一が40年に渡って記録し続けた数万枚の写真、千時間を
越える映像から本作は誕生した。報道写真月刊誌「DAYS JAPAN」の編集長・広河隆一は、数々の世界の戦場を取材し続
けた日本を代表するフォトジャーナリストである。死との瀬戸際に身
を置きながら、写真の力を信じ、命を賭けてきた広河は、1982年、レ
バノンのパレスチナ難民キャンプで大虐殺を目撃する。そこで広
河が撮影した映像は世界的なスクープとなり、各国に配信された。
ベトナム戦争以後、戦地に赴く日本人カメラマンの存在は広く知
られているが、問題の根源を深く追求する広河の仕事は、「戦場カメ
ラマン」という言葉からイメージされる薄っぺらなヒロイズムとは一
線を画している。「被害者側にどんなことが起っているのか。それ
を調べ、伝えるのがジャーナリストの役割」を信念とする彼は、40
年間パレスチナを追い続けてきた。しかし、マスメディアでは発表
することの出来ない膨大な写真・映像の数々。「このまま眠らせて
はいけない」、その思いが、1本の貴重な、そして人々の思いを映し
出す長編ドキュメンタリー映画となって誕生した。◆2006年11月、
広河は自らの原点を見つめイスラエルのキツツダリアを訪れる。こ
こは、1967年に社会主義を提唱する共同農場「キツツ」に興味を
抱いてやって来た広河がはじめて暮らした場所だった。23歳の広
河は、ここで気がかりな風景と出会う。サボテンが群生する「白い
廃墟」。それはかつてパレスチナ人が暮らしていた村の跡だった。
広河は、今は地図にも載っていない失われた村、ダリヤトルーハの
住民を捜し始める。それは破壊と追放の歴史を辿る旅のはじまり
でもあった……。◆今から60年前、1948年に何が起きたのか、廃
墟と化し地図から消えていった村々の徹底した取材によって、隠さ
れ続けた歴史が、いま姿を現す。イスラエル建国60年、NAKBAから
60年目を迎える今年、記憶に刻む
ロングランロードショー決定! 廃墟
を訪ね証言を記録する広河の40
年に渡る旅も、まだ終わらない。



フォトジャーナリスト・広河 隆一
1943年、中国天津市生まれ。45年に日本に引き揚げる。1967年に早稲田大学を卒業後、イスラエルへ渡る。その後に第3次中東戦争勃発。70年に帰国。その後、中東問題と核問題を中心に海外取材を重ねる。IOJ国際報道写真コンテストの大賞・金賞をはじめ、講談社出版文化賞、日本写真協会年度賞、早稲田ジャーナリズム大賞、土門拳賞など多数受賞。「新版・パレスチナ」「核の大戦」「龍平の未来」「チルノブリと地球」「チルノブリ消えた458の村」「写真記録・パレスチナ」「破断層」などのノンフィクション、写真集、小説、訳書を多数出版。また、「チルノブリ 20年目の歌声」「素敵な宇宙船地球号—はばたけ命の翼」など中東、核関係の報道番組も多数制作。9.11以降人々の間で広がるメディア不信に深刻な危機意識を持った広河は、2004年3月、報道写真月刊誌「DAYS JAPAN」を発刊。編集長として現在に至る。

★ホームページでも最新の情報、特別記事など発信中!! シネ・ヌーヴォのホームページアドレス <http://www.cinenouveau.com/>

上映中・モーニングショー・特別上映

※7/12(土)~18(金)特集上映 共催:ドイツ文化センター・大阪

ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー映画祭2008

◆60年代末から70年代の変革の時代を疾走し、37歳で夭逝した天才監督ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー。*(ニュー・ジャーマン・シネマ)*の旗手として、時代を先駆したテーマに挑むとともに、ダグラス・サーカを敬愛し、数々のメロドラマを作り続けた。その早すぎる死は、あまりに惜しまれてならない。いま発見する、天才の軌跡!

上映作品

『出稼ぎ野郎』1969年/88分 出演:ハンナ・シグラ、ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー
『悪の神々』1969年/91分 出演:ハリー・ペア、ハンナ・シグラ
『何故R氏は発作的に人を殺したか?』1970年/88分 出演:クルト・ラーブ
『四季を売る男』1971年/89分 出演:ハンス・ヒルシュミラー、イルム・ヘルマン
『ペトラ・ファン・カントの苦い涙』1971-72年/124分 出演:マーギット・カーステンゼン
『マルタ』1973-74年/116分 出演:マーギット・カーステンゼン、カールハインツ・ベーム
『不安と魂』1973-74年/93分 出演:ブリギッテ・ミラ、エール・ヘディ・ベン、サレム
『エフィー・ブリースト』1974年/114分 出演:ハンナ・シグラ、ウォルフガング・シェンケ
『自由の代償』1974-75年/123分 出演:ファスビンダー、ベーター・チャテル
『少しの愛だけでも』1975-76年/104分 出演:ヴィートゥス・ツェプリヒャル
『魔女のやから』1975-76年/112分 出演:クルト・ラーブ、マーギット・カーステンゼン
『シナのルーレット』1976年/86分 出演:マーギット・カーステンゼン、アンナ・カリーナ
『哀れなボルヴィーザー』1976-77年/112分 出演:クルト・ラーブ、エリザベト・トリッセナー
『マリア・ブラウンの結婚』1978年/120分 出演:ハンナ・シグラ、クラウス・レーヴィチュ
『リリー・マルレン』1980-81年/120分 出演:ハンナ・シグラ、ジャンカルロ・ジャンニニ
『ローラ』1981年/113分 出演:バーバラ・ズコヴァ、アルミニ・ミューラー=シュタール
『ヴェロニカ・フォスのあこがれ』1982年/104分 出演:ローゼル・ツェヒ
『少しの愛だけでも』1992年/102分『ファスビンダーについてのドキュメンタリー映画』

ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー(1945~1982)

1945年5月31日、パート・ヴェリスホーフェン生まれ。1967年に劇団「アクトイオーン・シアター」に参加。同劇団解散後の1968年、仲間たちとともに劇団「アンチシアター」を設立。劇団メンバーとの挑発的かつ実験的な長編映画制作を始める。1978年に発表した『マリア・ブラウンの結婚』により、「ニュー・ジャーマン・シネマ」を代表する監督として世界的に認知される。『リリー・マルレン』(1980/81)、『ケレル』(1982)では国際的スターを起用した大作映画を振り上げる。ドイツ映画の未来を託される希有な存在となった矢先の1982年6月10日、37歳で急死。彼の映画は、女性の抑圧、同性愛、ユダヤ人差別、テロリズムなどスキャンダラスなテーマが多く、常に激しい議論を巻き起こした。遺された42本の監督作品は、今にも多くの問題を提起し続いている。



7/12(土)	12:30	14:20	16:05	18:30	20:30
	出稼ぎ野郎	何故R氏は発作的に人を殺したか?	ペトラ・ファン・カントの苦い涙	少しの愛だけでも	リリー・マルレン
13(日)	12:30	14:50	17:00	18:55	20:40
	マリア・ブラウンの結婚	ローラ	ヴェロニカ・フォスのあこがれ	四季を売る男	悪の神々
14(月)	12:30	14:55	16:45	18:35	20:30
	ペトラ・ファン・カントの苦い涙	悪の神々	出稼ぎ野郎	少しの愛だけでも	マルタ
15(火)	12:30	14:45	16:25	18:45	20:30
	リリー・マルレン	シナのルーレット	ペトラ・ファン・カントの苦い涙	不安と魂	エフィー・ブリースト
16(水)	12:30	14:45	17:00	18:50	20:35
	マリア・ブラウンの結婚	リリー・マルレン	ペトラ・ファン・カントの苦い涙	不安と魂	魔女のやから
17(木)	12:30	14:20	16:30	18:45	21:00
	不安と魂	マルタ	マリア・ブラウンの結婚	自由の代償	ローラ
18(金)	12:30	14:35	17:10	18:50	20:55
	魔女のやから	エフィー・ブリースト	シナのルーレット	哀れなボルヴィーザー	ヴェロニカ・フォスのあこがれ

※6/7(土)よりロードショー 『ランジェ公爵夫人』公開記念

ジャック・リヴェット監督特集 “秘密と法則の間で”

作品解説

『地に墮ちた愛』1983年/125分 ◆『美しき諂い女』に至るまでリヴェットが繰り返し描いてきた“芸術創造をめぐるサスペンス”という主題のもともと美しい結晶であり、鬼才リヴェットが正当に評価されるきっかけになった出来作。『嵐が丘』1985年/130分 ◆エミリー・ブロンテの神秘的かつ暴力的なまでの愛を描いた原作を、1930年代のフランスに舞台を移し映画化。荒野のなかで憎悪にさらされながら情熱的に生きる永遠の恋人たちを野性的な力で捉える。

『美しき諂い女』1991年/237分 ◆『美しき諂い女』と題する絵を完成させようとする画家とモデル、妻や恋人たちをめぐる葛藤のドラマ。バルザックの短編『知られざる傑作』を自由に脚色した傑作。4時間にも及ぶ上映時間、ペアールのヘアが猥褻か芸術かで物議をかもした問題作。久々237分のオリジナル版で上映!!

『ジャンヌ・ダルク I 戦闘』1993年/178分(『ジャンヌ 愛と自由の天使』完全版)
『ジャンヌ・ダルク II 宝獄』1993年/160分(『ジャンヌ 蔷薇の十字架』完全版) ◆18歳の乙女が「神の声」に導かれ、フランス解放に向かい、進軍の旗をゆく—リヴェット長年の企画であり、フランス史上最大のヒロイン、ジャンヌ・ダルクの波乱に満ちた生涯を2つの作品に分け完成させた異例の大作。2つの作品で、厳密に時代考証された中世の歴史的事件を、さらに完全版で細部に至るまで再現され描かれる圧巻の歴史絵巻。

『Mの物語』2003年/150分 ◆『美しき諂い女』から12年。ジャック・リヴェットとペアールが再びコンビを組んで、新たな官能の世界の扉を開いた愛の衝撃作。先へ進むにつれて観客を物語に引き込むリヴェットの巧みな映像哲学!

シネクラブ会員募集!!(年会費3000円)

特 1. シネ・ヌーヴォをご招待券1枚プレゼント!(半年間有効)
2. 当日入場料金の割引!会員は1000円でご覧いただけます(ただし、オールナイトなどは除きます)。※同伴者1名も有効
3. ポイントカードの発行/有料入場で1ポイント、10ポイントでご招待券プレゼント!毎週火曜日はWポイントデータ報の発行/2カ月に1回お送りします。
4. 映画本・ビデオ・CDの割引
5. 他劇場でも映画割引!宝塚シン・ビニア・プラネット・プラス1~前売料金の100円引き。梅田ガーデンシネマ、第七藝術劇場、京都みなみ会館、京都シネマ、シネカノン・神戸・前売料金で入場できます。
7. 合評会/原則毎月第3日曜日はシネクラブ合評会を行っておりります。

※会員更新の方には、スタンプ2ポイントサービス!※郵便振替でも入会できます。振替用紙に住所・氏名・電話番号と「入会金」と明記し、「00920-5-46944 シネ・ヌーヴォ」の口座に3000円をお振り込みください。

★メール会員募集!!(メールでヌーヴォの上映案内を無料でお送りいたします) ★ボランティアスタッフ募集!!

●今後のラインナップ●

●8/2(土)よりロードショー【夏の日本映画大回顧展】

追悼特集 映画監督・市川崑

1948年の『花ひらく』でデビュー以来、風刺喜劇、芸能映画、メロドラマ、戦争映画、ドキュメンタリー、ミステリー、娯楽時代劇など多種多様なジャンルで数々の作品を残し、鬼才の名をほしいままにした日本映画界の名匠・市川崑監督。シネ・ヌーヴォ恒例の夏の日本映画大回顧展は、今年2月13日に逝去された市川崑監督を偲んで8週間にわたって大特集を開催。物語の面白さと共に独特的な映像美をシャープなカット割りで観客を魅了した天才監督。生涯の75作品から上映可能な60作品を一挙上映!!

●8/9(土)よりレイロードショー

『ファヴェーラの丘』

2005年/アメリカ/81分 ◆監督:シェフ・ジン・パリット、マット・モチャリー ◆出演:アンセル・ソーン

麻薬ギャング、腐敗した軍警察に支配されたリオデジャネイロの

スラム街は“ファヴェーラ”と呼ばれる。パレスチナ紛争よりも多くの若者が死にゆく街だ。そんな危険な地区で、絶望的で息詰まるような日當から希望ある未来を子供たちに示すと立ち上がった男を追ったドキュメンタリー。ギャングを夢見る子供たちを救うため、銃や暴力ではなく音楽やダンスを武器に、ファヴェーラの丘に希望のリズムを響かせる。本作は、世界中の映画祭で20を超える賞を受賞するなど絶賛された話題作。

●9月ロードショー

『コロッサル・ユース』

2006年/ボルガル/フランス/スイス/155分 ◆監督:ペドロ・コスタ

◆出演:ヴェンクーラ、ヴァンダ・ドゥアルテ、ペアリーズ・ドアルテ 鮮烈な日本公開となった「ヴァンダの部屋」から6年、ボルガルの俊英ペドロ・コスタ監督の待望の新作が登場する! 再びヴァンダを登場させて彷彿とされる人々を描き出す。古くからカボ・ヴェルデなどアフリカ系移民が多く住む、リスボン郊外のファンタニーニャ地区。住民たちは開発に伴い、建てられたばかりの近代的な集合住宅へと強制移住させられていた。そんな移民労働者の一人で、34年この地区に住んできたヴェントゥーラは、突然、妻に家を出て行かれてしまう。荒廃した貧民窟と新しい集合住宅を行き来しながらも、本当の自分の場所を見出していく魂の彷彿の物語。2006年のカンヌ国際映画祭を始め、世界各地で絶賛されたペドロ・コスタ監督の渾身作。もうしばらくお待ち下さい!

●今秋ロードショー

『コミュニケーションはSEXがお上手?』

2006年/52分/ドイツ ◆監督:脚本:アンドレ・マイヤー

かつて、鉄のカーテンで仕切られた東西ドイツ。共産主義と資本主義。大きく隔たっていた生活は、ベッドの今まで及んでいた! 1989年、ベルリンの壁崩壊。1990年、東西ドイツ統一達成。その後、社会学者たちが、それまで神秘に包まれていた東ドイツの生活実態をリサーチした結果、驚くべき事実が次々とペールを脱いた。本作は、東西ドイツの歴史を“セクス”という側面から捉えた、他に例のない想の驚きの科学ドキュメンタリー。果たして人生を豊かにするセクスとは…?!

●今秋ロードショー

『蒼ざめた馬』2004年 ロシア

◆監督:カレン・シャフナザーロフ

◆原作:ローブン・「蒼ざめた馬」 革命家ローブンの自伝的小説を、名匠カレン・シャフナザーロフ監督が映画化。ロマノフ王朝末期の爛熟した貴族社会を背景に、ひとりのテロリストがかなわぬ恋に身を焦がしながら、大公暗殺をもぐらむが…。2006年の「ロシア・ソビエト映画祭」で話題となった本作、待望のロードショー決定!!

◆シネクラブ合評会(毎回、am.11:00~から開催) ◎

●6月15日(日) ●7月20日(日)

【場所】喫茶ケルン2F(シネ・ヌーヴォ)近く。劇場でお尋ねください

維新派が建築したアート映画館



●梅田・なんばから地下鉄10分。本町で地下鉄中央線に乗り換える「九条」下車、6番出口から大阪ドーム方向へ徒歩3分(アーケード商店街を進みバチンコ・オメガを右折、次を左折、「やまと薬局」を右折すぐ)

大阪市西区九条1-20-24 TEL06-6582-1416 FAX06-6582-1420

e-mail: info@cinenouveau.com http://www.cinenouveau.com/

Schedule

シネ・ヌーヴォ スケジュール 2008年6月・7月

ロシア史上、最も愛される人形童話 リバイバルロードショー!

『チェブラーシカ』

(全4話完全〈デジタルリマスター〉版)

1969年、1971年、1974年、1983年 ロシア/73分 日本語字幕版/配給:三鷹の森ジブリ美術館

◎監督:脚本:ロマン・カチャーノフ ◆原作:脚本:エドワルド・ウスペンスキー「ねこのゲーナ」(小学館)

◆美術監修:レオニード・シュワルツマン ◆音楽:ウラジーミル・シャインスキーミハエル・シフ

※『チェブラーシカ』は、アートル梅田でも同時ロードショー!!

【同時開催】ソビエトアニメ劇場

ロマン・カチャーノフの『ミトン』など、4つのプログラムで贈るファンタジーの饗宴!!

◆1999年の「ユーリー・ノルシュテイン祭」「ロシア・アニメベストセレクション」、2001年の「ロシア・アニメ映画祭2001」など、シネ・ヌーヴォで上映してきた数々のロシアアニメーション。1920年代から現代ロシアのアニメ事情まで名作、秀作、話題作の数々を幅広く上映してきました。幻とも言っていた『イワンのこうま』や、新作が待たれるユーリー・ノルシュテインの名作『霧につつまれたハリネズミ』『話の話』、また今年新訳で公開された『雪の女王』など、映画の魅力、楽しさを紹介し大好評を得てまいりました。◆今回、見ることができなくなってしまった嬉しい『チェブラーシカ』が待望のリバイバル公開、それも全4話完全〈デジタルリマスター〉版ロードショーという嬉しい堂々劇場公開を記念し、『ソビエト・アニメ劇場』を同時公開いたします。“アニマル”“アイロニー”“ファンタジー”“ノスタルジー”的4つのプログラムに分けて、それぞれの角度からロシア・ソビエトアニメーション映画の魅力を掘り下げ、魅力的で愛らしいキャラクターと出会える夢の饗宴。世界のアニメ作家に影響を与えた作品の数々。そして新しい出会い!ぜひご覧ください!!



『チェブラーシカ』(全4話完全〈デジタルリマスター〉版)

◆動物園の孤独なワニに会いに来たのは、都会の隙間の電話ボックスに暮らす、正体不明の心やさしい生き物愛すべき“チェブラーシカ(ぱったり倒れ屋さん)”!! ◆1969年から83年にかけて全4話のこのアニメーションが放映されて以来、チェブラーシカはロシアで絶大な人気を誇る国民的キャラクターとなつた。その人気は各国に飛び火し、日本では2001年に公開されるや、可愛いけれど悲しげなキャラクターが評判を呼び、多くのファンを生んできた。しかし、その後、上映権を巡って封印され、ファンを失望させてきたが、2008年夏、ジブリ美術館によって新ロードショー決定! ロシア史上、最も愛される人形童話が、この夏スクリーンに登場する!!

『アーモンド』(90分)…『キリン』(1986年/10分/ラオ・ヘイドメツ)『戦争』(1987年/20分/R・ウント,kh・ヴォルメル)『ハエとゴキブリ』(1986年/10分/R・ウント,kh・ヴォルメル)『雄牛』(1984年/10分/バルテル・ウースペルグ)『穴熊と月』(1981年/10分/L・ダニコフ,G・キスクロフ)『コウノ島のキーチ』(1971年/10分/L・ドムニン)『野原』(1978年/10分/R・ラーマット)『獵師』(1976年/10分/R・ラーマット)

◆動物園の孤独なワニに会いに来たのは、都会の隙間の電話ボックスに暮らす、正体不明の心やさしい生き物愛すべき“チェブラーシカ(ぱたり倒れ屋さん)”!! ◆1969年から83年にかけて全4話のこのアニメーションが放映されて以来、チェブラーシカはロシアで絶大な人気を誇る国民的キャラクターとなつた。その人気は各国に飛び火し、日本では2001年に公開されるや、可愛いけれど悲しげなキャラクターが評判を呼び、多くのファンを生んできた。しかし、その後、上映権を巡って封印され、ファンを失望させてきたが、2008年夏、ジブリ美術館によって新ロードショー決定! ロシア史上、最も愛される人形童話が、この夏スクリーンに登場する!!

『アーモンド』(100分)…『つぐり話』(1984年/10分/P・ビャルン)『草上の朝食』(1987年/27分/ブリード・ピヤルン)『パパ・カルロ劇場』(1988年/10分/ラオ・ヘイドメツ)『ジャパン』(1985年/10分/アヴォ・バイスティーグ)『ベスト』(1983年/10分/ダヴィット・タカイシヴィリ)『地獄』(1983年/18分/R・ラーマット)『シティ』(1988年/15分/イン・ラーマット)

★プログラムA “アーモンド”(90分)…『キリン』(1986年/10分/ラオ・ヘイドメツ)『戦争』(1987年/20分/R・ウント,kh・ヴォルメル)『ハエとゴキブリ』(1986年/10分/R・ウント,kh・ヴォルメル)『雄牛』(1984年/10分/バルテル・ウースペルグ)『穴熊と月』(1981年/10分/L・ダニコフ,G・キスクロフ)『コウノ島のキーチ』(1971年/10分/L・ドムニン)『野原』(1978年/10分/R・ラーマット)『獵師』(1976年/10



Schedule 6 June

※5/31(土)よりロードショー 『ヤーチャイカ』写真映画

2008年 / 日本 / 70分 / 配給:アンジェリカ
◎監督・脚本:覚和歌子、谷川俊太郎 ◎原作:覚和歌子 ◎写真:首藤幹夫
◎音楽:丸尾みゆみ ◎録音:橋本泰夫
◎出演:香川照之、尾野真千子、コモブチキイチロー、高松いく



◆驚きの“写真映画”が誕生した。写真を積み重ねることで見えてくる現代の物語。いつしか静止画だった映像がイマジネーションの世界で動き出し、不思議な感動の体験へと見る者を誘う奇跡の映画。『千と千尋の神隠し』の主題歌の作詞で知られる覚和歌子が、初めて書き下ろした詩集「ゼロになるからだ」。本作は、この詩集に収録された「ヤーチャイカ」を元に、覚和歌子が日本の現代詩の巨匠・谷川俊太郎とともに、共同で脚本・監督。写真映画『ヤーチャイカ』は、二人の詩人が共に命を吹き込んだ奇跡の映像物語。恋人を亡くした女性と人生に絶望した男が、自然の中で共に日々を過ごすうちに、生きる力を取り戻していく姿を描いた感動作。

◆「ヤーチャイカ(私はかもめ)」とは、人類初の女性宇宙飛行士テレスコワが、宇宙船の中から地球と交信した第一声。宇宙船の愛称が「かもめ」だったことからの発言だが、宇宙への憧れなどを醸し出す言葉として忘れ難い。その言葉に導かれて描かれる、女と男をむすぶ、人と自然をむすぶ、そして地球と宇宙をむすぶ親和力の物語。主演は、日本映画界きっての実力派俳優・香川照之と、「殯の森」の尾野真千子。言葉を詩で綴り、映像はすべてスチール写真で構成するという大胆な映像表現が、観る者の想像力をかきたてる。

★「ヤーチャイカ」写真展をロビーで同時開催!!

※6/7(土)よりロードショー 〈『ランジェ公爵夫人』公開記念〉 ジャック・リヴェット監督特集“秘密と法則の間で”

◆トリュフォーやゴダール、ロメールたちと共に、フランス映画、あるいは世界の映画を振り動かすムーブメント、ヌーベル・ヴァーグを起こした映画作家の一人、ジャック・リヴェット。彼の燃えるような恋愛についての偉大なる最新作『ランジェ公爵夫人』公開を記念し、今年で80歳を迎えるながら、最も前衛的で、最も若々しい映画作家ジャック・リヴェットの作品を特集上映する!!

6/7(土) → 9(月) 17:20 Mの物語	20:10 ランジェ公爵夫人	6/10(火) → 13(金) 17:20 ランジェ公爵夫人	20:00 Mの物語
6/14(土) 11:30 美しき静い女	15:50 地に墮ちた愛	18:15 地に墮ちた愛	20:40 嵐が丘
15(日) 11:30 嵐が丘	13:55 美しき静い女	20:35 ランジェ公爵夫人	
16(月) 11:30 ランジェ公爵夫人	14:05 嵐が丘	16:30 美しき静い女	20:50 地に墮ちた愛
17(火) 11:30 嵐が丘	13:55 地に墮ちた愛	18:15 ランジェ公爵夫人	18:45 美しき静い女
18(水) 11:30 美しき静い女	15:50 ランジェ公爵夫人	18:25 地に墮ちた愛	20:45 嵐が丘
19(木) 11:30 地に墮ちた愛	13:50 美しき静い女	18:10 嵐が丘	20:35 ランジェ公爵夫人
20(金) 11:30 ランジェ公爵夫人	14:05 嵐が丘	16:30 美しき静い女	20:50 地に墮ちた愛
21(土) 10:00 美しき静い女	14:20 ジャンヌ・ダルク I 戦闘	17:35 ジャンヌ・ダルク II 宝獄	20:30 嵐が丘
22(日) 10:00 ジャンヌ・ダルク I 戦闘	13:15 ジャンヌ・ダルク II 宝獄	18:15 美しき静い女	20:35 地に墮ちた愛
23(月) 10:00 地に墮ちた愛	12:25 ジャンヌ・ダルク II 宝獄	18:40 美しき静い女	
24(火) 10:00 嵐が丘	12:30 美しき静い女	16:50 ジャンヌ・ダルク I 戦闘	20:05 ジャンヌ・ダルク II 宝獄
25(水) 10:00 美しき静い女	14:20 ジャンヌ・ダルク I 戦闘	17:35 ジャンヌ・ダルク II 宝獄	20:30 嵐が丘
26(木) 10:00 ジャンヌ・ダルク II 宝獄	13:05 嵐が丘	15:30 美しき静い女	19:50 ジャンヌ・ダルク I 戦闘
27(金) 10:00 地に墮ちた愛	12:25 美しき静い女	18:45 ジャンヌ・ダルク I 戦闘	20:00 ジャンヌ・ダルク II 宝獄

※6/20(金)までロードショー 『ランジェ公爵夫人』

2006年 / 仏・伊 / 137分 / カラー / 配給:セラ・インターナショナル
◎監督・脚本:ジャック・リヴェット ◎原作:オルレ・バザック
◎脚本:バカル・ボニゼル、クリスティーヌ・ローラン ◎出演:ジャンヌ・リリバール、ギヨーム・ドバルデュー、ミシェル・ビコリ、ビュル・オジェ

◆ジャック・リヴェット監督が、カンヌ国際映画祭でグランプリを獲得した『美しき静い女』に続き、フランスの文豪バルザックの名作を忠実に、完璧なまでの美しさで完全映画化。力

強く、堂々たる風格の文芸作品を生み出した。19世紀初頭、パリの虚飾と欺瞞に満ちた貴族社会を舞台に、社交界の華ランジェ公爵夫人とナポレオン軍の英雄モンリヴォー将軍の恋を描く。最初は戯れのように見えた二人が、いつしか激しく恋愛に陶酔してゆく姿を通して、男と女の普遍的な関係を見事に描き出す。その徹底した細部へのこだわりと、冷静な眼差しは、恋に身を焦がす男女の心情を際立たせ、二人の甘美で幻想的な世界に、観る者の魂を誘う。



※6/28(土)よりモーニングロードショー 『凍える鏡』

2007年 / 日本 / 100分 / カラー / デジタル / 製作・配給:AMGエンタテインメント
◎監督・脚本:矢崎拓 ◎撮影:宮野宏樹 ◎照明:原春男
◎録音:宗晋瑞 ◎音楽:伊藤ひさ子 ◎助監督:川井武
◎出演:田中圭、渡辺美佐子、富樫真、増沢望、川口節子、下条アトム



◆主人公・瞬は、子どものような純粹さと絵の才能を持ち合わせながら、幼児期に母親から受けた虐待によって、その精神は今もひどく傷ついている。彼は、偶然知り合った童話作家・香澄と心を通わせ、その娘・由里子のカウンセリングを受けることになるが、治療者ののはずの由里子もまた、母親である香澄に対し、根深いこだわりを持ち続けているのだった…。万能なる母、大地の母。心理学では、母親は子どもが成長していくための「鏡」にも例えられる。しかし、その母が、まるで氷のように冷たく、すべてを凍えさせてしまう存在だとしたら…? ◆幼少期に母親から虐待をうけトラウマを抱えた青年が、似た境遇の女性と出会い再生する姿を静かに描いた感動作。家族の崩壊と再生をテーマに精力的に作品を撮り続ける大島拓が監督・脚本・編集をこなし、一筋縄ではいかない現代の親子の関係性を問う。もはや親から「無条件の愛」を与えられることのなくなった現代人の孤独とそこからの回復を、ひと組の母子と青年との関わりを通して描き出した21世紀の寓話。

●【強迫性障害】…追及感や不快感が何度も頭に浮かぶため、それらを振り払う目的から、同じ行動を繰り返してしまう心の病気。次三手、手を洗わずにいる間は、戸締まりを何度も確認してしまうなどの誰でもたまには経験する行動が、習慣的かつ非常に頻繁にでて、生活に支障をきたすほどの状態。

※6/28(土)よりロードショー 『memo メモ』

2008年 / 日本 / 106分 / カラー / デジタル / 配給:アブリック
◎監督・脚本:佐藤二朗 ◎撮影:三木木久城 ◎照明:原春男
◎録音:宗晋瑞 ◎音楽:伊藤ひさ子 ◎助監督:川井武
◎出演:シゲ・コーレン、ガリット、ケットマン、J・P・ハビス、ツヴィ・イエズケリ、ヨナシ・トルゴブニック、アッタ、アーウィント



◆数々の映画やドラマで俳優として活躍するだけでなく、劇団主宰者、脚本家としての顔も持つ佐藤二朗の監督デビュー作。テーマは「強迫性障害」。本人独特の意識により、同じ行動を繰り返してしまう心の病。いまもその思いの中にあるという佐藤が、自身の体験を基に脚本を書き下ろし初監督。本人ならではの心の葛藤をリアルに描いた力作が誕生した。◆閑静な住宅街に住む繭子は、日常生活の中であるタイミングがくると、メモをとらなくてはいけない衝動が起こる「強迫性障害」をもつた女子高生。その症状は何日かに一回、ノートなどを大量購入しなければならないほどで、繭子の生活は学校とカウンセラーの元へ通うことで成り立っていた。ある日、繭子の家に長い間、音信不通だった父の弟、純平が訪ねてきた。やがて彼も「強迫性障害」であることがわかり、ふたりは交流を始める…。◆繭子を演じるのは、韓英恵、10歳で「ピストルオペラ」(01)でデビュー、「誰も知らない」(04)、「黄色い涙」(07)など話題作が続く期待の女優だ。

●【鏡】の心理的解釈とは?…子どもは親という「鏡」に自分を映し出することで、おのれの行動の意味を知り、自己を育てていく。通常は母親がその役割を担うが多い。(H・コートの理論から)

※6/28(土)よりロードショー 『1000の言葉よりも』

2006年 / イスラエル / 78分 / デジタル / カラー / 配給:アブリック
◎監督・撮影・編集・音楽:ソロ・アビダル ◎プロデューサー:オリバ・バーベン
◎出演:シゲ・コーレン、ガリット、ケットマン、J・P・ハビス、ツヴィ・イエズケリ、ヨナシ・トルゴブニック、アッタ、アーウィント



◆イスラエル人としてパレスチナ問題を撮り続け、危険を顧みず現実を伝えようとする報道写真家ジブ・コーレンに迫るドキュメンタリー。自爆攻撃により破壊された一台のイスラエルのバス、爆発の衝撃と威力を物語り、報道写真家ジブ・コーレンの名を有名にした一枚の写真。タイム紙の表紙を飾り、後に世界中のコンクールで賞を総なめにしたこの写真は、イスラエルの新聞にも掲載された。死んだ自国民の写真を自国の新聞に掲載したのは、イスラエル報道史でも際立った出来事だった。◆イスラエル人であるジブ・コーレンがパレスチナの紛争を撮影するのは非常に危険である。彼を驅り立てるものは一体何なのだろうか? 悲劇を目の前にしてシャッターを切ること、そのトラウマ。今でも彼は、自爆攻撃のバスを撮影した時の衝撃をこう語る。「いま鮮明に記憶している。どこに立って、何を見たか、今でも思いだせる。現場から立ち去っても、まばたきするたびに死体が見えた」◆美しい妻と子、幸せな家族との生活を持ちながら、それでも戦場へと向かうコーレンは、ねじれた現実を鮮明に写し出す。彼の写真はどんな言葉よりも雄弁に真実を語る。「目の前で人が死んだ。その時感じたものを写真を通して伝えたい。それが、私にとっては強迫観念なんだ」

| 5/29 | 30 | 31 | 6/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |<th
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

特別上映

※9/27(土)~特集上映

マノエル・ド・オリヴェイラ監督“生誕100年祭”

ペドロ・コスタは、小津安二郎の後継者として世界の作家・批評家から絶賛されている。一方、その小津の生誕から5年後、同じ誕生日である世界最高齢の現役映画監督マノエル・ド・オリヴェイラが、今年生誕100年を迎える。ペドロ・コスタ監督の『コロッサル・ユース』公開とともに、同じポルトガルの大先輩オリヴェイラ監督生誕100年を記念してオリヴェイラ作品6本を一挙上映する。いまもなお旺盛な製作意欲のオリヴェイラ監督。新作のたびに、世界の映画祭で絶賛され続けているが、驚くのは本格的な映画製作は60歳を超えてからだという。70歳を過ぎてからは1年に1本というペースで、それもありに若々しく、また一作ごとに作風が異なりながらオリジナリティに溢れる質の高い作品を発表し続けている。あまりに凄いオリヴェイラ監督をリスペクト!!

『夜顔』2006年／70分 ◎出演：ミシェル・ビコリ、ビュル・オゾエ

ルイス・ブニュエル監督の傑作『星顔』にオマージュを捧げ、登場人物たちの38年後を描くシニカル人生ドラマ。初老の紳士アンリは、パリのコンサート会場ではるか昔の知人を発見する…。

『永遠の語らい』2003年／95分 ◎出演：ジョン・マルコヴィッチ、カトリース・ドス・アーヴィング 父親に会うため地中海を巡る船旅に出た母娘が、その道中で人類の歴史と文化の足跡に触れ、あるいは様々な国の人々との出会いを通して自らの歴史観を新たにしていく姿を描く。

『家宝』2002年／132分 ◎出演：レオノール・バルダック、レオノール・シルヴェイラ 美しさの中に妖しい魅力を秘めたひとりの女性が、いつしか彼女を取り巻く3人の男女を翻弄し、それぞれの運命を大きく狂わせていく様を静かに淡々とした語り口で描く。

『家路』2001年／90分 ◎出演：ミシェル・ビコリ、カトリース・ドス・アーヴィング 舞台や映画で活躍するベテラン俳優が、ある日突然、最愛の妻と娘夫婦を事故で亡くし、残された孫と二人だけの静かな生活を送る中で、自らを見つめ直す姿を哀歎たっぷりに描く。

『わが幼少時代のボルト』2001年／61分 ◎出演：マノエル・ド・オリヴェイラ ボルトガルの巨匠マノエル・ド・オリヴェイラ監督が、故郷ボルトを舞台に、自らの少年期を美しく独創的な映像で綴る自伝ドラマ。

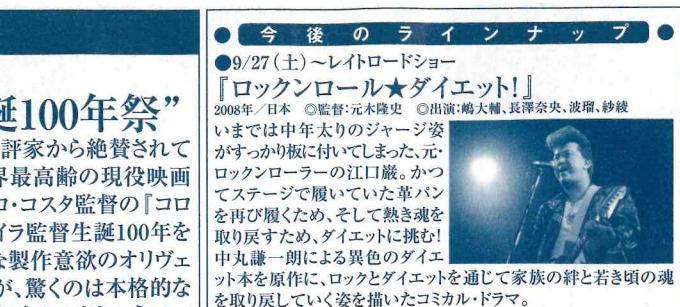
『クレーヴの奥方』1999年／107分 ◎出演：キアラ・マストロヤニ フランス古典文学を、現代の社交界を舞台に描いた文芸恋愛ドラマ。ロック歌手ペドロ・アブルニョーザの歌に託した愛の叫びは圧巻!!

マノエル・ド・オリヴェイラ監督

1908年12月11日ボルトガル北部ボルト生まれ。現役最長者の映画監督。学生時代は映画とスポーツに熱中し、陸上選手、レーシングカードライバーとして活躍する。俳優養成学校を経て、家業を手伝いながら、40年に劇映画を初監督するが、興行的失敗。何度か映画界を離れるが、93年の『アブラハム渓谷』が世界的に絶賛されて以降、100歳となる今も、精力的に新作を発表し続けている驚異的な存在。

9/27(土)	11:00 コロッサル・ユース	14:00 ヴァンダの部屋	17:30 コロッサル・ユース	
28(日)	11:00 クレーヴの奥方	13:05 コロッサル・ユース	15:55 永遠の語らい	17:50 コロッサル・ユース
29(月)	11:00 コロッサル・ユース	13:55 クレーヴの奥方	16:00 コロッサル・ユース	18:50 永遠の語らい
30(火)	11:00 永遠の語らい	12:55 コロッサル・ユース	15:45 クレーヴの奥方	17:50 コロッサル・ユース
10/1(水)	11:00 コロッサル・ユース	14:00 永遠の語らい	15:55 コロッサル・ユース	18:30 クレーヴの奥方
2(木)	11:00 コロッサル・ユース	14:00 ヴァンダの部屋	17:30 コロッサル・ユース	21:00 家路
3(金)	11:00 ヴァンダの部屋	14:30 コロッサル・ユース	17:40 コロッサル・ユース	21:00 家路
4(土)	10:30 夜顔	12:00 コロッサル・ユース	14:55 ヴァンダの部屋	18:10 コロッサル・ユース
5(日)	10:30 コロッサル・ユース	13:25 家宝	16:00 コロッサル・ユース	20:15 夜顔
6(月)	10:30 コロッサル・ユース	13:25 家路	16:20 夜顔	19:45 家宝
7(火)	10:30 家路	12:25 わが幼少時代のボルト	13:50 コロッサル・ユース	16:45 家宝
8(水)	10:30 ヴァンダの部屋	13:45 コロッサル・ユース	16:35 コロッサル・ユース	20:40 家路
9(木)	10:30 夜顔	12:10 家路	14:00 コロッサル・ユース	16:30 コロッサル・ユース
10(金)	10:30 ヴァンダの部屋	13:50 コロッサル・ユース	16:45 わが幼少時代のボルト	18:10 夜顔
11(土)~13(祝)	20:00 「コロッサル・ユース」	14(火)~17(金)	20:00 「ヴァンダの部屋」	15(水)~20:00 「家宝」
				16(木)~20:00 「わが幼少時代のボルト」

土本典昭監督が、6月24日に永眠された。3月末から体調を崩され、わずか数ヶ月での突然の訃報だった。享年79。尊敬する、あまりに素晴らしい映画監督を私たちは失った。スーザンでは、ドキュメンタリスト土本監督をドキュメントした『映画は生きものの記録』である/土本典昭の仕事』(原田敏史監督)と、土本作品10本を5月に上映したばかりで、その世界にあらためて魅かれ、今後の活躍を期待していただけに残念でならない。『映画は生きものの記録である』製作と同時に進行していた土本監督の対話集『ドキュメンタリーの海へ/記録映画作家・土本典昭との対話』(土本典昭・石坂浩治著、現代書館、370頁、3600円+税)が、このたび出版された(シネ・ヌーヴォでも発売中)。土本監督が後進に伝えようとした思い、志、そして示唆に富む言葉に満ちた好著だ。ぜひお読みいただきたい。あらためて、土本監督の追悼企画を催す予定だが、今はただ監督のご冥福をお祈りするばかりだ。



今後のラインナップ

●9/27(土)~レイトロードショー
『ロックンロール★ダイエット!』
2008年／日本 ◎監督：元木隆史 ◎出演：嶋大輔、長澤奈央、波瀬、紗綾
いまでは中年太りのジャージ姿がすっかり板に付いてしまった、元・ロックンローラーの江口巖。かつてステージで履いていた革パンを再び履くため、そして熱き魂を取り戻すため、ダイエットに挑む! 中丸謙一朗による異色のダイエット本を原作に、ロックとダイエットを通じて家族の絆と若き頃の魂を取り戻していく姿を描いたミカナル・ドラマ。



10月ロードショー 『小さな赤い花』

2006年／中国、イタリア ◎監督：チャン・ユアン ◎出演：ドン・ボウエン、ニン・ユアン・ユン、サン・シャン
検閑の厳しい中国映画界で異彩を放つチャン・ユアン監督が描く、全寮制の幼稚園を舞台にした問題作。原作は60年代に幼少時代を過ごしたワン・シューの自伝的小説。厳格な統制に違和感を抱く男児の反抗をユーモラスな視点でとらえながら、中国の教育システムがもたらす問題を観る視点で描き出す。ドキュメンタリーも多く手掛けるチャン監督の手腕と子どもたちの自然な演技があいまって、見る者的心をうつ。タイトルの“小さな赤い花”とは!?

10月ロードショー 特集上映 今村昌平の世界

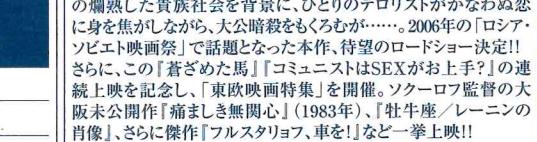
2006年5月、日本映画界の重鎮、今村昌平監督が亡くなった。カンヌ国際映画祭で2度もパルムドール大賞を受賞するなど世界的な映画監督だった。社会から疎外された底辺に蠢く庶民のヴァイタリティーをエネルギーで描き、数々の傑作を発表。しかし、世界的な名声を得ながら経済的困難と常に闘い、個性を喪失する戦後日本において、常識を疑い人間の本音を徹底したアリズムで描き続いた。没後2年、そしてデビュー作『盗まれた欲情』から50年を記念し、上映可能な作品を集めた特集上映を開催!!

11月ロードショー 『コミュニストはSEXがお上手?』

2006年／52分／ドク ◎監督：脚本：アンドレ・マイヤー
かつて、鉄のカーテンで仕切られたいた東西ドイツ。共産主義と資本主義。大きくなっていた生活は、ベッドの中にまで及んでいた! 1989年、ベルリンの壁崩壊。1990年、東西ドイツ統一達成。その後、社会学者たちが、それまで神秘に包まれていた東西ドイツの生活実態をリサーチした結果、驚くべき事実が次々とベルトを脱いだ。本作は、東西ドイツの歴史を“セックス”という側面から捉えた、他に例のない着想の驚きの科学ドキュメンタリー。果たして人生を豊かにするセックスとは…?!

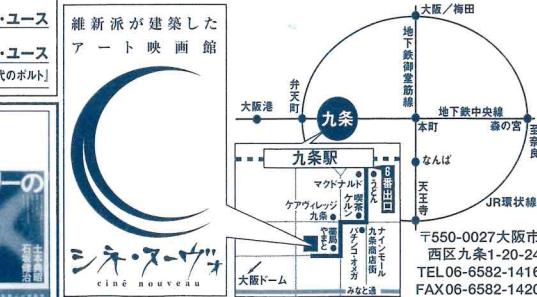
●今秋ロードショー 『蒼ざめた馬』

2004年 ◎監督：カレン・シャフナザーロフ
◎原作：アーヴィング・「蒼ざめた馬」
革命家ローブンの自伝的小説を、名匠カレン・シャフナザーロフ監督が映画化。ロマノフ王朝末期



●シネクラブ合評会(毎回、am.11:00~から開催) ◎8月17日(日) ◎9月21日(日)

【場所】喫茶ケルン2F(シネ・ヌーヴォ)近く。劇場でお尋ねください



記録映画作家・土本典昭との対話
トキュメンタリーの海へ
土本典昭監督著、現代書館、370頁、3600円+税

★シネクラブ会員募集!!(年会費3000円/お得な会員割引など、様々な特典付き) ★メール会員募集!!(メールでヌーヴォの上映案内を無料でお送りいたします) ★ボランティアスタッフ募集!!

e-mail: info@cinenouveau.com http://www.cinenouveau.com/

Schedule

シネ・ヌーヴォ スケジュール 2008年8月・9月

多種多様なジャンルで数々の作品を残し、鬼才の名をほしいままにした日本映画界の名匠・市川崑監督。幼少期を当地、大阪・九条で過ごし、今年2月に亡くなった市川監督を偲んで生涯の75作品から60作品を一挙上映!!

※8/2(土)~
ひと夏をかけて
大特集!!

追悼特集 映画監督・市川崑

大阪人気質っぽい「モダニスト」

ミルクマン斎藤(映画評論家)

それでもヌーヴォさん、おそらく思い切った企画じゃないですか。2ヵ月ごとそ市川崑づくしつて……そのむかしTV『木枯し紋次郎』の放送枠は「市川崑劇場」と名付けられていたけれど、まさしくそのものでありますね。

監督生活60年間に累積された膨大なフィルモグラフィを眺めたとき、その無節操ともいえる「なんでもあり」な多彩さに、観客の反応はそれぞれの映画觀によって大きく分かれるところだろう。ただ面白いのは、映画の黄金時代を新東宝～東宝～日活～大映と渡り歩いた契約社員監督であったにもかかわらず、いわゆるプログラム・ピクチャ的な、「会社側から押しつけられた感」のある映画がわり安い少ない(ように思える)こと。

新東宝～東宝時代に早くも日本のメンタリティの逆をいくクールで洒脱な独自の作風を確立し、日活～大映時代には文芸作を連打して風格さえ漂わせ、内外の映画賞も相次いで受賞して特別な扱いをもって遇されたから、ってのもあろうけれど、とにかく「撮りたいものを徹底して自分流のスタイルで撮る(その企みに妻である和田夏十氏が大きく関与していたのは言うまでもない)」という貫いた意志がそこには感じられるのだ。……それは間違いなく「巨匠」的な歩みではあるが、それでは取まらないのが市川崑の面白さ。

どんなジャンルであれ、作家というものには完成に向かうものと未完に向かうものがいるけれど、市川崑ほど典型的な後者もないだろう。『東京オリンピック』以後、フリーになってからの40年間はまさに融通無碍。むしろ、時代に請われたから仕方なく続けたのでは? といった感覚ある金田一シリーズさえ、晩年まで岩井俊二との共同監督・脚本による「本陣殺人事件」の企画が進行していたことを考えると(僕は実際にその原稿を監督に見ていただいたことがある)まんざら無理矢理でもないだろう。

新東宝舞台にした傑作…大阪で育った市川監督はモダンな一面、大阪の文化を体现。山崎豊子の原作を市川監督独自の美学で映像化した傑作『ほんち』(60年)、最高傑作にして市川監修の一本『細雪』(83年)など、大阪を描いた屈指の作品。

新しいモノ好きというかハイカラ好きというか、何かしら面白いと思ったことは躊躇わず試してみたくて仕方なくなり、それが輝かしいフィルモグラフィを汚しかねないような題材でも嬉々として撮ってしまう。いってみれば大阪人気質っぽいニュアンスでの「モダニスト」……それが市川崑の本質にもっとも近いのではないか。いわば「なんでもあり」こそ市川崑、でもこの膨大な映画群を観倒せばすぐに判ることだが、そのどれもが市川崑以外の誰にも作れないのだ。



追悼特集 映画監督・市川崑【上映作品】

①初期メロドラマ…第2作にして市川崑の名を知らしめた『三百六十五夜』(1949年)、続編『人間模様』(同)、『果てしなき情熱』(同)、『夜來香』(51年)など、初期メロドラマを一挙上映。

②モダンな都会調の作家として注目…青春の喜びと悲しみを軽妙に都会的なセンスの『崑タチ』が鮮明になった『恋人』(51年)、早口言葉など遊び心に満ちた軽快なコメディ『盗まれた恋』(同)、あまりおしゃれで人気の高い作品『愛人』(53年)など、『モダニスト』が華開いた注目作。

③風刺喜劇…市川監督の出世作となった風刺喜劇の傑作『ブーサン』(53年)。また『億万長者』(54年)、『満員電車』(57年)など、現代社会を痛快に描いた快作群。

④戦争映画の名作…世界が泣いた不朽の名作『ビルマの豊饒』(56年)、反戦映画の傑作『野火』(59年)。戦争を憎んだ市川監督の渾身作を、8月15日を中心に上映。

⑤傑作ドキュメンタリー…初のドキュメンタリー作品にして市川監督の最高傑作『東京オリンピック』(65年)、高校野球を描いた『青春』(68年)を上映!

⑥中期の頂点・大映での運作…物議を醸した『処刑の都屋』(56年)から「ど根性物語 錢の踊り」(64年)までの大映時代は、ひとつの頂点をなす傑作を作。様式美の極致『日本橋』(56年)、とけた犯罪コメディ『穴』(57年)、市川雷蔵が新境地を見せた問題作『炎上』(58年)、宮川一夫カメラマンの撮影も秀逸な大ヒット作『鍵』(59年)、初のキネマ旬報ベストテン第1位に輝いた大傑作『おとうと』(60年)、スタイリッシュなミステリー『黒い十人の女』(61年)、そして傑作『破戒』(62年)、『私は二歳』(62年)など、多種多彩な題材を、見事な作品に昇華させた真骨頂が發揮された12年。

⑦大阪を舞台にした傑作…大阪で育った市川監督はモダンな一面、大阪の文化を体现。山崎豊子の原作を市川監修の美学で映像化した傑作『ほんち』(60年)、最高傑作にして市川監修の一本『細雪』(83年)など、大阪を描いた屈指の作品。

⑧ご存知、金田一耕助シリーズ…一世を風靡した角川映画第1作『犬神家の一族』(76年)から5作シリーズを連作したほか、配役を変えて『八つ墓村』(96年)を監督。おどろおどろしさとモダンさがミックスされた映像は観客を魅了し続けた。

⑨その他作品群…チャンバラが大好きな市川監督は唯一のATG作品『股旅』(73年)から「帰って来た木立を殺し紋次郎」(93年)、大作「四十七人の刺客」(94年)、「どら平太」(00年)など、多彩な味付けで時代劇に挑戦。また小型ヨットによる太平洋無寄港単独横断を果たした堀江謙一のベストセラーの映画化『太平洋ひとりぼっち』(63年)。堀江は今年も波の力だけを動力とするヨットで航海に成功している。さらに映画史へのオマージュ『映画女優』(87年)、手塚アニメへの挑戦『火の鳥』(78年)、壮大なアンタジー『竹取物語』(87年)、刑事もの『幸福』(81年)、山口百恵引退映画『古都』(80年)など、多種多様なテーマの作品を縦横に演出。生涯の75本より60本を一挙上映する。

巨匠として、ひとつのジャンルに留まることなく、旺盛な実験精神、その柔軟な思想で多彩な映画を撮り続けた市川監督の作品こそ、若い人たちに見てほしい!!

★ホームページでも最新の情報、特別記事など発信中!! シネ・ヌーヴォのホームページアドレス http://www.cinenouveau.com/

モーニングショー・合評会・後記

※10/11(土)～17(金)モーニングショー

『1978年、冬』 2007年／中国・日本／101分

◎監督・脚本:リーチーシアン ◎脚本:リーウェイ ◎撮影:ワン・ユー

◎出演:チキン・ファン、リー・チエ、ヤン・チニア、チャオ・ハイエン

◆今年は、北京オリンピックの年であったとともに、中国では改革開放30周年の年であった。今から30年前、1978年は文化大革命の大混乱が終わりを告げた年だった。混沌とした不安感のなかで、自由と希望の光をうっすらと感じ始めた中国を舞台に、少年と兄、少女の淡い恋を描いた悲しくも美しい青春映画。本作は、東京国際映画祭審査員特別賞をはじめ世界の映画祭で高い評価を受けた中国第6世代の監督リー・チーシアン(『思い出の夏』)の長編第3作。70年代末の、中国北部の荒涼とした風景と、少年たちにとって忘れられないひと冬を見事に描いた傑作。

※10/25(土)～31(金)ロードショー

『レス・ポールの伝説』

2007年／アメリカ／90分／カラー／配給:ボニーキャニオン、アップリンク ◎監督・脚本・編集:ジョン・ポールソン ◎出演:レス・ポール、キース・リチャーズ、ジェフ・ベック、ポール・マッカートニー、B.B.キング、トニー・ベネット、エドワード・ザン・ヘイン

◆今ミュージシャンたちに愛用され、エレキ・ギターの代名詞となった「レス・ポール」の産みの親レス・ポールに迫る音楽ドキュメンタリー。ミュージシャンたちとのセッションを中心にして、レス・ポール自らが人生を振り返り、彼を尊敬してやまないポール・マッカートニー、ジェフ・ベック、キース・リチャーズらがレス・ポールを語る。5度のグラミー賞を受賞し、90歳を過ぎてなお週に一度はステージに立つ現役ギタリストのレス・ポールの活力ある姿は圧巻!!

○シネクラブ合評会(第3回曜日、am.11:00～から開催) ◎

●10月19日(日) ●11月16日(日)

【場所】喫茶ケルン2F(「シネ・ヌーヴォ」近く。劇場でお尋ねください)



(引き続き、シネ・ヌーヴォXで上映)

●今後のラインナップ●

●11/29(土)～ロードショー(ベルリン・フィル2作同時公開) 2008年／ドイツ

『帝国オーケストラ』 ◎監督:エンリケ・サンチェス=ランチ

創立125周年を迎えたベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の長い歴史の中のヒトラー政権下、主席指揮者フルヴィゲウラー率いるベルリン・フィルとナチスの関係を当時の映像記録とインタビューで解き明かす。ナチスに翻弄され、何を感じ、どう選択し演奏を続けていたか。そして描かれる封印されていた演奏家の個々の真実…。過去を検証し理解するために、2007年ベルリン・フィル125周年式典で上映された本作、ディレクターズカット版で新字幕、世界初上映。

『ベルリン・フィル 最高のハーモニーを求めて』

2008年／ドイツ ◎監督:トマス・グルベ

芸術監督兼主席指揮者サー・サイモン・ラトル率いるベルリン・フィル126名の演奏たちの東アジアを巡るコンサートツアーを追いかが、世界最高峰のオーケストラの喜びと苦悩を描いた屈指の音楽ドキュメンタリー。2005年のコンサートツアーに同行したカメラクルーは、北京、ソウル、上海、香港、台北、そして東京と文化や思想が異なる6つの都市を駆け抜けた…。

●12月中旬ロードショー

『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』

2005年／イギリス ◎監督:アラザース・クエイ ◎出演:ゴットフリード・ジョン

イギリス怪奇ロマンの異端にして「映像の鍊金術師」アラザース・クエイの10年ぶりの最新作がついに公開! 2作目の長編実写となる本作は、クエイ兄弟の虜になったテリー・ギリアムがプロデュース、美しい歌姫マルヴィーナに魅せられた天才科学者は、彼女を誘拐する…。独自のアニメーションと実写が融合し、絵画のように美しい狂氣がスクリーンに咲き乱れる! 幻想かつ怪奇な美術、あまりにユニークな映像世界!!

プラザーズ・クエイの幻想博物館

最新作『ピアノチューナー・オブ・アースクエイク』公開を記念して、プラザーズ・クエイ監督作品をデビュー作から日本劇場未公開作品まで一挙大公開! 現代音楽作曲家ショットカウゼンとの共同作品『イン・ア・パンセニア』、アダム・クエイとの共同作品『サンドマン』などの未公開作のほか、日本で驚愕で迎えられた伝説のカルトムービー『ストリート・オブ・クロコダイル』、初の実写映画『パンヤメント学院』など、プラザーズ・クエイの全貌。ヨーロッパの幻想文学と現代的イルミネーションが交差する禁断の映像体験!!

●来春ロードショー

『チエキンへ アレクサン德拉の旅』

2007年／ロシア・フランス ◎監督:アルクサンタル・ソクロー ブ主演:ガリーナ・ヴィシネフスカヤ

アレクサン德拉は、チエキンのロシア軍前線基地に赴いている孫に会いに行き、そこで、チエキンの人々と知り合う…。アレクサン德拉にはロストロボーヴィチ夫人でオペラの女王ガリーナ・ヴィシネフスカヤ。ロストロボーヴィチ夫人の祭典を撮ったソクローが彼女に出演を懇願。ヴィシネフスカヤの素晴らしさ! 実際のロシア軍チエキン基地で全編を撮影。戦闘シーンはまったく出でこないが、戦争の虚しさ、平和への祈りが伝わってくるソクロー監督の集大成! 楽作、そしてあまりに美しい感動作!!

●来春ロードショー

『フランス映画の秘宝 アキムコレクション』

1935年パリで映画会社を設立した兄・ロベルと弟・レイモンのアキム兄弟、37年に『望郷』を発表して一夜にして成功を収めるが、「映画を作ることが生きる証」との哲学から表舞台には一切出ず、その後も上質の作品を次々に生み出していく。アキム兄弟が製作した傑作群——太陽はひとつまつち」「エヴァの匂い」「望郷」「獣人」「肉体の冠」「嘆きのテレーズ」「ノートルダムのせむし男」「奥様用心」「二重の鍵」「気のいい女たち」「太陽がいっぱい」「めんどうの肉」「ダンケルク」「輪舞」「星顔」「夜明けのマルジュ」

一挙上映! しかも大阪最終上映。お見逃しなく!!

日程=10月19日(金)開演13:30／開演14:00 会場=大阪歴史博物館・4階

上映作品=『路上の靈魂』(大正10年)35mm／サイレント／白黒／112分[18rps]

監督:村田実 編劇:小山内薰 脚本:牛原虚度 撮影:島津保次郎

出演:小山内薰、沢村春子、久松三枝子、鈴木博明、南光明、葛谷丈夫、岡田宗太郎、英百合子

ライヴ演奏=音楽プロデューサー、渡邊崇 舞台:古元美千子 フルート:久保田裕美

ヴァイオリン:膳路ミキ パーカッション:大和川レコード、スヒスヒオ

料金／前売2300円、当日2600円(チケット代別途100円) Tコード:554-465)

お問い合わせ先／TEL.06-6373-1211(コミュニティシネマ大阪事務局)



新派が建築した
アート映画館
シネ・ヌーヴォ
Ciné nouveau

●梅田・なんばから地下鉄10番町。本町で地下鉄中央線に乗り換える「九条」駅、6番出口から大阪ドーム方向へ徒歩3分(アーケード商店街を進みバチカン・オメガを右折、次へ左折、「やまと葉薬局」を右折すぐ)

館外イベントのご案内

「映画連続講座 vol.6～日本映画を関西から～」9/27より開講!

NPOコミュニティシネマ大阪が主催する恒例の「映画連続講座」の第6弾が9月27日より開催される。映画を志す人はもとより、映画への理解をより深めたい方に絶好の機会。

日程と講師は、9月27日(土)10:30「時間芸術としての映画」大森一樹(映画監督)、10月18日(土)pm:1:30「アクション映画の秘密を語る」原田徹(映画監督)、11月15日(土)pm:1:30「大阪映画」の原点はイビリ精神!?! 武部好伸(映画評論家) 会場は、大阪歴史博物館・4階第1研修室(地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」9号出口前)。料金は、通し券3600円、1回券1500円(先着順)。お問合せ・予約先は、TEL.06-6373-1211(コミュニティシネマ大阪事務局)。

サウンド・オン・フィルム特別上映会

「1921年作『路上の靈魂』生演奏上映会」10/19(日)開催!!

松竹最古のサイレント映画にして、それまでの「活動写真」が「映画」になったと高く評価された日本映画史上の傑作「路上の靈魂」。本作を新進作曲家・渡邊崇の音楽プロデュースによる生のバンド演奏にのせて特別上映。

日程=10月19日(金)開演13:30／開演14:00 会場=大阪歴史博物館・4階

上映作品=『路上の靈魂』(大正10年)35mm／サイレント／白黒／112分[18rps]

監督:村田実 編劇:小山内薰 脚本:牛原虚度 撮影:島津保次郎

出演:小山内薰、沢村春子、久松三枝子、鈴木博明、南光明、葛谷丈夫、岡田宗太郎、英百合子

ライヴ演奏=音楽プロデューサー、渡邊崇 舞台:古元美千子 フルート:久保田裕美

ヴァイオリン:膳路ミキ パーカッション:大和川レコード、スヒスヒオ

料金／前売2300円、当日2600円(チケット代別途100円) Tコード:554-465)

お問い合わせ先／TEL.06-6373-1211(コミュニティシネマ大阪事務局)

シネクラブ会員募集!!(年会費3000円)

1.シネ・ヌーヴォご招待券1枚プレゼント!(半年間有効)

2.当日入場料の割引／会員は1000円でご覧いただけます(ただし、オールナイトなどは除きます)。※同伴者1名も有効

3.ポイントカードの発行／有料入りで1ポイント、10ポイントでご招待券プレゼント! 毎週火曜日はWポイントデー

4.会報の発行／2ヵ月に1回お送りします。

5.映画本・ビデオ・CDの割引

6.他劇場でも映画替り! 宝塚シネ・ビシア、プラネット・プラス…前売料金の100円引き。梅田ガーデンシネマ、第七藝術劇場、京都みなみ会館、京都シネマ、シネカノン神戸…前売料金で入場できます。

7.合評会／原則毎月第3曜日はシネクラブ合評会を行っております。

※会員更新の方には、スタンプ2ポイントサービス! ※郵便振替でも入会できます。振替用紙に住所・氏名・電話番号と「入会金」と明記し、「009025-46944シネ・ヌーヴォ」の口座に3000円をお振り込みください。

e-mail: info@cinenouveau.com http://www.cinenouveau.com/

C
Ciné Nouveau
(発行)シネ・ヌーヴォ
2008年10月1日号

Schedule

シネ・ヌーヴォ スケジュール 2008年10月・11月

没後二年 デビュー作『盗まれた欲情』から50年――

特集上映 今村昌平の世界

人々の心の深淵に潜む人間性をバイタリティ溢れるタッチで鋭く描き出し、生と死、日本人の源流などを、庶民の視点で創り続けてきた映画監督・今村昌平。劇映画、ドキュメンタリー作品など故・今村昌平監督全作品を一挙上映する!!

※10/25(土)～
ロードショー!



●劇場作品「テント劇場」より『盗まれた欲情』1958 「西銀座駅前」1958 「果しなき欲望」1958 「にあんちゃん」1959 「豚と軍艦」1961 「にっぽん昆蟲記」1963 「赤い殺意」1964 「エロ事師たち」1966 「人類学入門」1966 「人間蒸発」1967 「神々の深き欲望」1968 「にっぽん戦後史 マダムおんぼろの生活」1970 「復讐するは我々にあり」1979 「ええじゃないか」1981 「楳山節考」1983 「女街 ZEGEN」1987 「黒い雨」1989 「うなぎ完全版」1997 「カンゾー先生」1998 「赤い橋の下のぬいもの」2001 「11'09'01/セブテンバー11」2002

●テレビ・ドキュメンタリー・学校実習作品「未帰還兵を追って 第一部マレー篇」1971 「未帰還兵を追って 第二部タイ篇」1971 1973 「無法松故郷に帰る」1973 「遠へ行きたいおれの下北」1972 「ブランの海賊」1972 「あほう」1975 「凍り立つ炎」1980

今村昌平監督プロフィール
1926年、東京都生まれ。小学時代からの友人の北村和夫や、早大学生で会った小沢治一、加藤武らを得て、演劇の演出家を目指すが、黒澤明監督「酔いどれ天使」(48年)を観て映画に魅かれる。51年、早稲田大学文学部卒業後、松竹大船撮影所に入社。助監督として小津安二郎、野村芳太郎、渋谷実につく。54年治作に移籍し、川島雄三のチーフ助監督に。『盗まれた欲情』(58年)で監督デビューし、ブルーリボン賞新人賞を受賞。続く「にあんちゃん」(59年)で文部大臣賞、『豚と軍艦』(61年)でブルーリボン賞ベストテン第1位。「にっぽん昆蟲記」(63年)でキネマ旬報賞ベストテン第1位をはじめ映画賞を総なめ。「赤い殺意」(64年)の後、65年に日活を退社、今村プロダクションを設立。記録映画やテレビ作品にも挑戦して傑作を撮り続けるが、資金などの苦労に直面する。68年、企画から通算8年目の『神々の深き欲望』を完成。自ら大成と呼ぶ3時間もの大作で、映画賞を独占。頂点を極める。79年、殺人鬼の足跡を追う『復讐するは我にあり』でも映画賞を独占。その後、「楳山節考」(83年)と『うなぎ』(97年)で、カンヌ国際映画祭パルムドール大賞を二度受賞。それは、世界的名声を得ながら経済的困窮と共に闘い続けた独立プロの過酷さを物語っている。また、1975年、横浜放送映画専門学院(現・日本映画学校)を創立し校長に就任、後進の育成に心血を注いだ。第一線で活躍する数多くの映画人を育て上げた功績は図り知れないものがある。没後2年、そしてデビュー作『盗まれた欲情』から50年を記念し、劇映画、さらにはドキュメンタリー作品など今村昌平監督の50年の軌跡・全作品を一挙上映する!! 君はイマムラを見たか!

10.25(土) 12:10 盗まれた欲情	2:00 果しなき欲望	4:00 西銀座駅前トーカー	6:00 にっぽん昆蟲記	8:20 にあんちゃん
26(日) 12:10 還暦兵を追って	2:00 ドラマ(音響)	3:35 にっぽん昆蟲記	6:00 豚と軍艦	8:10 果しなき欲望
27(月) 12:10 にっぽん昆蟲記	2:35 豚と軍艦	4:45 にあんちゃん	6:45 果しなき欲望	8:40 盗まれた欲情
28(火) 12:10 豚と軍艦	2:20 果しなき欲望	4:25 盗まれた欲情	6:20 にあんちゃん	8:20 にっぽん昆蟲記
29(水) 12:10 にあんちゃん	2:10 赤い殺意	5:00 にっぽん昆蟲記	7:25 西銀座駅前	8:35 豚と軍艦
30(木) 12:10 にっぽん昆蟲記	2:30 豚と軍艦	4:35 赤い殺意	7:25 盗まれた欲情	9:15 西銀座駅前
31(金) 12:10 赤い殺意	3:00 にっぽん昆蟲記	5:25 神々の深き欲望	—	8:40 にっぽん戦後史
11.1(土) 10:15 にっぽん戦後史	12:20 神々の深き欲望	3:35 あほう涙ナイト	5:40 復讐するは我にあり	8:25 人間蒸発
2(日) 10:15 神々の深き欲望	1:30 赤い殺意	4:20 人間蒸発	6:45 にっぽん戦後史	8:40 無法松ナブアン
3(月) 10:15 にっぽん戦後史	3:20 神々の深き欲望	5:30 カラゆきさん	8:05 赤い殺意	—
4(火) 10:15 にっぽん戦後史	12:20 神々の深き欲望	3:35 復讐するは我にあり	6:15 人間蒸発	8:40 人類学入門
5(水) 10:15 人間蒸発	12:45 人類学入門	3:10 にっぽん戦後史	5:15 神々の深き欲望	8:25 復讐するは我にあり
6(木) 10:15 無法松ナブアン	12:10 復讐するは我にあり	2:50 人間蒸発	5:20 人類学入門	



Schedule 10 October

※9/27(土)よりロードショー 『コロッサル・ユース』

2006年／ポルトガル／フランス・スイス／155分／配給：シネマトリックス
◎監督：ペドロ・コスタ ◎撮影：ペドロ・コスタ、レオナルド・シモンイス
◎出演：ヴァンダ・ルーヴァ、ヴァンダ・ダ・アルテ、ペアトリズ・ダウアルテ
2006年カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品



◆鮮烈な日本公開となった『ヴァンダの部屋』から6年、ポルトガルの俊英が、再びヴァンダを登場させて彷彿と/or人々を描き出した。2006年のカンヌ国際映画祭を始め、世界各地の映画祭で『ヴァンダの部屋』以上の驚きを与えたペドロ・コスタ監督の渾身の一作である。◆古くからカーボ・ヴェルデ出身のアフリカ系移民が多く住む、リスボン郊外のファンタイニヤス地区。住民たちは開発に伴い建てられたばかりの近代的な集合住宅へと強制移住させられる。そんな移民労働者の一人で、34年この地区に住んできたヴェントーラは、突然、妻に家を出て行かれてしまう。途方に暮れ、荒廃した貧民窟と新しい集合住宅の間を行き来しつつ、彼は、自身が「子供たち」と信じる、ヴァンダやベーテ、レントたち若い住民を訪ね歩き、対話を重ねながら自分の場所を見出そうとしていく。ヴェントーラの美しくも哀しい聖なる歩み。人間について、土地についての壮大な叙事詩!

※9/27(土)よりロードショー オリヴェイラ監督“生誕100年祭”

『夜顔』2006年／70分 出演：ミシェル・ビコリ、ビュル・オジエ
◎監督：脚本：チキン・ユアン ◎脚本：ニン・ダイ ◎原作：ワン・シュオ
◎撮影：ヤン・タオ ◎美術：フォーティンシャオ ◎音楽：カルロ・クリヴェッリ
◎出演：ドゥン・ポウェン、ニン・ユアン・ユアン、チム・マンヤン、シャオ・ルイ
2006年ベルリン国際映画祭・国際芸術映画評論連盟賞(CICAE賞)

『永遠の語らい』2003年／95分 出演：ジョン・マコヴィチ、カトリース・ドスザ

地中海を巡る船旅に出た母娘が、その道中で文化や人々との出会いなどを通して、自らの存在を考察する。

『家宝』2002年／132分 出演：レオナルド・バルダック、レオノール・シルヴェイラ

ひとりの女性が3人の男女の運命を大きく狂わせていく様を、静かに淡々とした語り口で描く。

『家路』2001年／90分 出演：ミシェル・ビコリ、カトリース・ドスザ

最愛の妻と娘夫婦を事故で亡くし、残された孫と二人だけの静かな生活を送る老夫婦を哀歎たっぷりに描く。

『わが幼少時代のボルト』2001年／61分

ボルトガルの巨匠オリヴェイラ監督が、故郷ボルトを舞台に自らの少年期を美しく独創的に映像で綴る自伝ドラマ。

『クレーヴの奥方』1999年／107分 出演：キアラ・マストロヤニ

フランス古典文学を、現代の社交界を舞台に描いた文芸恋愛ドラマ。ロック歌手ペドロの歌に託した愛の叫びは圧巻!!

『夜顔』 オリヴェイラ 監督

マノエル・ド・オリヴェイラ監督

1908年12月11-12日ポルトガル北部ボルト生まれ。現役最長老の映画監督。俳優養成学校を経て、家業を手伝いながら、40年に劇映画を初監督。何度か映画界を離れるが、93年の『アラハム渓谷』が世界的に絶賛されて以降、100歳となる今も、精力的に新作を発表し続けている驚異的な存在。

9/27(土) 11:00 コロッサル・ユース 2:00 ヴァンダの部屋 5:30 コロッサル・ユース

28(日) 11:00 クレーヴの奥方 1:05 コロッサル・ユース 3:55 永遠の語らい 5:50 コロッサル・ユース

29(月) 11:00 コロッサル・ユース 1:55 クレーヴの奥方 4:00 コロッサル・ユース 6:50 永遠の語らい

30(火) 11:00 永遠の語らい 12:55 コロッサル・ユース 3:45 クレーヴの奥方 5:50 コロッサル・ユース

10/1(水) 11:00 コロッサル・ユース 2:00 永遠の語らい 3:55 コロッサル・ユース 6:30 クレーヴの奥方

2(木) 11:00 コロッサル・ユース 2:00 ヴァンダの部屋 5:30 コロッサル・ユース

3(金) 11:00 ヴァンダの部屋 2:30 コロッサル・ユース 5:40 コロッサル・ユース

4(土) 10:30 夜顔 12:00 コロッサル・ユース 2:55 ヴァンダの部屋 6:10 コロッサル・ユース 9:00 家路

5(日) 10:30 コロッサル・ユース 1:25 家宝 4:00 コロッサル・ユース 6:55 わが幼少時代のボルト 8:15 夜顔

6(月) 10:30 コロッサル・ユース 1:25 コロッサル・ユース 4:20 家路 6:15 夜顔 7:45 家宝

7(火) 10:30 家路 12:25 わが幼少時代のボルト 1:50 コロッサル・ユース 4:45 家宝 7:20 コロッサル・ユース

8(水) 10:30 ヴァンダの部屋 1:45 コロッサル・ユース 4:35 コロッサル・ユース 7:25 わが幼少時代のボルト 8:40 家路

9(木) 10:30 夜顔 12:10 家路 2:00 家宝 4:30 コロッサル・ユース 7:30 コロッサル・ユース

10(金) 10:30 ヴァンダの部屋 1:50 コロッサル・ユース 4:45 わが幼少時代のボルト 6:10 夜顔 7:40 コロッサル・ユース

11(土)~13(祝) 20:00 「コロッサル・ユース」 14(火)~17(金) 20:00 「ヴァンダの部屋」 15(水) 20:00 「家宝」 16(木) 20:00 「わが幼少時代のボルト」

各回入替制

◆中国第6世代の異才チャン・ユアン監督が

描く、全寮制の幼稚園を舞台にした問題作。その衝撃性から、「北京バスターズ」「東宮西宮」など、中国国内で上映禁止処分となってきたチャン監督。『広場』『ただいま』『緑茶』など、現代中国の“今”を赤裸々に描き続け、1994年にはタイム誌で「21世紀の世界の若きリーダー100人」に選ばれたなど高い評価を受けている。◆彼の新作は、現代中国を代表する作家ワン・シュオが1960年代に幼少時代に体験した自伝的小説を原作に、過剰な教育政策に潜む矛盾を鋭い視線で描き出す。

厳格な統制に違和感を抱く男児の反抗をユーモラスな視点で捉えながら、中国の教育システムからたらす問題をシニカルにあぶり出す。ドキュメンタリーも多く手掛ける監督の手腕と子どもたちの自然な演技があいまって、描かれる中国の根強い画一政策への批判。製作はヴェネチア映画祭のディレクターで『ノーマンズ・ランド』『太陽』などのマルコ・ミューラー、撮影は『ルアンの歌』『夜の上海』のヤン・タオ、そして美術は『さらば、わが愛／霸王別姫』『王妃の紋章』のフォーティンシャオ。

4才の少年の目を通して「眞の教育とは何か」を我々に問いかける必見の衝撃作。

※10/11(土)よりロードショー 『小さな赤い花』

2006年／中国・イタリア／92分／配給・宣伝：アルシネテラン
◎監督：脚本：チキン・ユアン ◎脚本：ニン・ダイ ◎原作：ワン・シュオ
◎撮影：ヤン・タオ ◎美術：フォーティンシャオ ◎音楽：カルロ・クリヴェッリ
◎出演：ドゥン・ポウェン、ニン・ユアン・ユアン、チム・マンヤン、シャオ・ルイ

2006年ベルリン国際映画祭・国際芸術映画評論連盟賞(CICAE賞)

『永遠の語らい』2003年／95分 出演：ジョン・マコヴィチ、カトリース・ドスザ

地中海上を巡る船旅に出た母娘が、その道中で文化や人々との出会いなどを通して、自らの存在を考察する。

『家宝』2002年／132分 出演：レオナルド・バルダック、レオノール・シルヴェイラ

ひとりの女性が3人の男女の運命を大きく狂わせていく様を、静かに淡々とした語り口で描く。

『家路』2001年／90分 出演：ミシェル・ビコリ、カトリース・ドスザ

最愛の妻と娘夫婦を事故で亡くし、残された孫と二人だけの静かな生活を送る老夫婦を哀歎たっぷりに描く。

『わが幼少時代のボルト』2001年／61分

ボルトガルの巨匠オリヴェイラ監督が、故郷ボルトを舞台に自らの少年期を美しく独創的に映像で綴る自伝ドラマ。

『クレーヴの奥方』1999年／107分 出演：キアラ・マストロヤニ

フランス古典文学を、現代の社交界を舞台に描いた文芸恋愛ドラマ。ロック歌手ペドロの歌に託した愛の叫びは圧巻!!

『夜顔』 オリヴェイラ 監督

マノエル・ド・オリヴェイラ監督

1908年12月11-12日ポルトガル北部ボルト生まれ。現役最長老の映画監督。俳優養成学校を経て、家業を手伝いながら、40年に劇映画を初監督。何度か映画界を離れるが、93年の『アラハム渓谷』が世界的に絶賛されて以降、100歳となる今も、精力的に新作を発表し続けている驚異的な存在。

9/27(土) 11:00 コロッサル・ユース 2:00 ヴァンダの部屋 5:30 コロッサル・ユース

28(日) 11:00 クレーヴの奥方 1:05 コロッサル・ユース 3:55 永遠の語らい 5:50 コロッサル・ユース

29(月) 11:00 コロッサル・ユース 1:55 クレーヴの奥方 4:00 コロッサル・ユース 6:50 永遠の語らい

30(火) 11:00 永遠の語らい 12:55 コロッサル・ユース 3:45 クレーヴの奥方 5:50 コロッサル・ユース

10/1(水) 11:00 コロッサル・ユース 2:00 ヴァンダの部屋 5:30 コロッサル・ユース 6:30 クレーヴの奥方

2(木) 11:00 コロッサル・ユース 2:00 ヴァンダの部屋 5:30 コロッサル・ユース

3(金) 11:00 ヴァンダの部屋 2:30 コロッサル・ユース 5:40 コロッサル・ユース

4(土) 10:30 夜顔 12:00 コロッサル・ユース 2:55 ヴァンダの部屋 6:10 夜顔 9:00 家路

5(日) 10:30 コロッサル・ユース 1:25 家宝 4:00 コロッサル・ユース 6:55 わが幼少時代のボルト 8:15 夜顔

6(月) 10:30 コロッサル・ユース 1:25 コロッサル・ユース 4:20 家路 6:15 夜顔 7:45 家宝

7(火) 10:30 家路 12:25 わが幼少時代のボルト 1:50 コロッサル・ユース 4:45 家宝 7:20 コロッサル・ユース

8(水) 10:30 ヴァンダの部屋 1:45 コロッサル・ユース 4:35 コロッサル・ユース 7:25 わが幼少時代のボルト 8:40 家路

9(木) 10:30 夜顔 12:10 家路 2:00 家宝 4:30 コロッサル・ユース 7:30 コロッサル・ユース

10(金) 10:30 ヴァンダの部屋 1:50 コロッサル・ユース 4:45 わが幼少時代のボルト 6:10 夜顔 7:40 コロッサル・ユース

11(土)~13(祝) 20:00 「コロッサル・ユース」 14(火)~17(金) 20:00 「ヴァンダの部屋」 15(水) 20:00 「家宝」 16(木) 20:00 「わが幼少時代のボルト」

各回入替制

◆中国第6世代の異才チャン・ユアン監督が

描く、全寮制の幼稚園を舞台にした問題作。その衝撃性から、「北京バスターズ」「東宮西宮」など、中国国内で上映禁止処分となってきたチャン監督。『広場』『ただいま』『緑茶』など、現代中国の“今”を赤裸々に描き続け、1994年にはタイム誌で「21世紀の世界の若きリーダー100人」に選ばれたなど高い評価を受けている。◆彼の新作は、現代中国を代表する作家ワン・シュオが1960年代に幼少時代に体験した自伝的小説を原作に、過剰な教育政策に潜む矛盾を鋭い視線で描き出す。

厳格な統制に違和感を抱く男児の反抗をユーモラスな視点で捉えながら、中国の教育システムからたらす問題をシニカルにあぶり出す。ドキュメンタリーも多く手掛ける監督の手腕と子どもたちの自然な演技があいまって、描かれる中国の根強い画一政策への批判。製作はヴェネチア映画祭のディレクターで『ノーマンズ・ランド』『太陽』などのマルコ・ミューラー、撮影は『ルアンの歌』『夜の上海』のヤン・タオ、そして美術は『さらば、わが愛／霸王別姫』『王妃の紋章』のフォーティンシャオ。

4才の少年の目を通して「眞の教育とは何か」を我々に問いかける必見の衝撃作。

※10/11(土)よりロードショー レスリー・チャン映画特集

◆2003年4月1日に、46歳という若さで夭逝したレスリー・チャン。少年のような笑顔と憂いを帯びたその横顔は、世界の映画ファンを魅了し、今なお熱烈なファンも多い。ファンクラブ「for Leslie Lovers」とともに、レスリー・チャン主演作4本をスクリーンで見よう!!

各回入替制

◆かつて、鉄のカーテンで仕切られていた東西ドイツ。社会主義国と資本主義国。米ソ冷戦時代

の象徴として、同じ民族でありながら2つに分断され、何もかもが異なっていた彼らの生活、それはベッドの中にまで及んでいた…?! ◆

◆『流星』1999年／111分
監督：ジムコブ・チャン

『キッド』をモチーフに、レスリーが父親役に挑戦したヒューマンドラマ。鬼才ジムコブ・チャンの企画に賛同、自ら出資して製作した感動作。

◆『ボクらはいつも恋してる! 金枝玉葉』2001年／94分
監督：ピーター・チャン

一緒に過ごしていくうちに恋人たちが体験する心の迷いや、思いあつた試行錯誤などを愛情いっぱい、ユーモアたっぷりに描く。

◆『上海グランド』1996年／97分
監督：ブーン・マンキット

レスリー・チャンとアンディ・ラウ二大スター主演の大ヒット作。30年代の魔都「上海」を舞台に、固い友情で結ばれた二人の男が力を競い、恋を競い、美を競う大冒険アクションロマン!!

◆『痛ましき無関心』1983年／ソ連／96分
監督：フレデリック・ソーロフ

1989年、ベルリンの壁崩壊。1990年、東西ドイツ統一達成。その後、社会科学者たちが、それまで神秘に包まれていた東ドイツの生活実態をリサーチ。当時のニュースフィルムや映画などのレトロな映像に、セックス研究家や歴史学者らの証言を織り交ぜ、さらにキッチュなアニメを駆使して、東西ドイツのセックス対決を解説。次々と明らかにされる驚きのエピソードの数々、それは、東ドイツのほうがセックスがオープンに語られ、公に性教育を実施、セックスは親密な関係をつくり、楽しむものとみなされていたというのだ。本作は、東西ドイツの歴史を“セックス”という側面から捉えた、他に例のない着想の科学ドキュメンタリー。

◆『不思議惑星』1986年／ソ連／135分
監督：アレクセイ・ゲルマン

知る人ぞ知る、旧ソ連ゲルニア共和国発のカルトSFムービー。

◆『エルミタージュ幻想』2002年／ロシア／101分
ロシア近代300年間の歴史が描かれてゆくめるく美の世界!

◆『不思議惑星』1986年／ソ連／135分
監督：アレクセイ・ゲルマン

1989年、ベルリンの壁崩壊。1990年、東西ドイツ統一達成。その後、社会科学者たちが、それまで神秘に包まれていた東ドイツの生活実態をリサーチ。当時のニュースフィルムや映画などのレトロな映像に、セックス研究家や歴史学者らの証言を織り交ぜ、さらにキッチュなアニメを駆使して、東西ドイツのセックス対決を解説。次々と明らかにされる驚きのエピソードの数々、それは、東ドイツのほうがセックスがオープンに語られ、公に性教育を実施、セックスは親密な関係をつくり、楽しむものとみなされていたというのだ。本作は、東西ドイツの歴史を“セックス”という側面から捉えた、他に例のない着想の科学ドキュメンタリー。

◆『上海グランド』1996年／97分
監督：ブーン・マンキット

レスリー・チャンとアンディ・ラウ二大スター主演の大ヒット作。30年代の魔都「上海」を舞台に、固い友情で結ばれた二人の男が力を競い、恋を競い、美を競う大冒険アクションロマン!!

◆『痛ましき無関心』1983年／ソ連／96分
監督：フレデリック・ソーロフ

1989年、ベルリンの壁崩壊。1990年、東西ドイツ統一達成。その後、社会科学者たちが、それまで神秘に包まれていた東

